大阪消防

OSAKA SHOBO

平成31年
2月号
No.827



食べて遊んで癒されて、極楽の殿堂ここにあり！



12F 難波個室居酒屋 活き意気・さくらさくら
11F～5F サウナ&カプセル アムザ
西日本最大590室！本格派サウナ
展望露天風呂、温泉『萬の湯』
4F コミック&インターネットカフェ アプレシオ
地域最安値！アイス&ソフト食べ放題
3F ビッグエコー・鶴屋亀八・さんぱち屋
2F サイゼリア・力丸・びっくりドンキー
1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎
大東洋 なんば店 B1 CLUB-D



〒542-0074 大阪市中央区千日前2-9-17

団体割引適用で割安！
※❸を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会　職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者のための保険

❶ 消防職員医療保険
団体割引適用 30%
医療保険基本特約・疾病保険特約
・傷害保険特約セット　団体総合保険
募集時期■7月～8月　2月～3月　2月～4月（新採用プラン）

❷ 消防職員傷害保険
団体割引適用 30%
総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険
募集時期■7月～8月　2月～3月　2月～4月（新採用プラン）

❸ 消防職員賠償責任保険
救命救急士の専門業務も補償！
年間保険料 3,200円
公務員賠償責任保険（消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料支払に関する特約条項）
募集時期■12月～2月 7月～8月

❹ 消防職員がん保険
団体総合生活保険（がん補償）
募集時期■12月～2月
団体割引 20%

❺ 消防職員介護保険
団体総合生活保険（介護補償）
募集時期■12月～2月
団体割引 20%

❻ 消防退職者医療保険
団体総合生活保険（医療補償）
募集時期■12月～2月
団体割引・損害率による割引適用 約40%

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社
一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階　TEL.03-3234-1331（代）

引受保険会社　・損害保険ジャパン日本興亜株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

SJNK18-11548（2018/12/10）
18-TC02060（2018年12月作成）

KOTONOHA
ことのは



旭建睦会会長
旭防火協力会副会長
株式会社山野工務店代表取締役
山野　功

旭建睦会

「旭建睦会」とは、旭区に関係する建築業者及び建築に携わる業者をもって組織され、建築、消防用設備等に関することを研修するとともに火災予防の普及を図り、災害に強い町づくりの推進に寄与することを目的として昭和37年７月に設立され、今年で56年目を迎える消防協力団体です。(会員企業数は平成30年11月末現在で26社)

平成22年２月には旭区役所と「災害時における応急活動等に関する協定」を締結し、大規模災害が発生し応急救助が必要となった場合に地域に居住する企業市民として積極的に支援することを約束しています。

具体的な協力体制として要請があった場合は、保有資器材の提供や住民避難路確保のための瓦礫等障害物の除去作業、また救出救助のための重機の提供など「旭建睦会」しかできない地元ならではの迅速な対応ができるよう会員間で情報共有も行っています。

日頃の仕事もそうですが、このような活動は体力の維持と体調管理が重要で私自身、特に気を付けるよう心がけています。趣味の一つである山登りは楽しみながら基礎体力の強化を図り、日頃のストレスを発散すべく気分転換にも役立てております。

これまでの経歴は日本国内の山々はもとより、平成28年から平成30年にかけてネパールのエベレスト(ベースキャンプ5,364m)を皮切りにスイスのモンブラン(4,810m)、アフリカ最高峰のキリマンジャロ(5,895m)への登頂を果たし趣味にも仕事にも弾みをつける良いきっかけとなっています。

昨今、国内においても地震、台風などにより甚大な被害が発生しており、又、南海トラフ巨大地震が危惧される中、有事の際には災害による被害が少しでも軽減できるよう地域が一体となって協力し「災害に強いまち」を目指してこれからも取り組んでいきたいと思います。



平成31年大阪市消防出初式

1月6日

























©TOMY「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。














CONTENTS

February 2019
No.827

大阪消防 2

表紙：大阪市消防出初式／編集部

01	ことのは　旭建睦会	山野　功
02	グラビア　平成３１年大阪市消防出初式	編集部
04	コンテンツ	編集部
05	救急安心センターおおさかだより	救急課
05	災害概況	警防課
06	消防局長年頭訓示	企画課
08	**いらっしゃい、大阪消防です！** 二村　知子さんを訪ねて	編集部
11	**ニュースカプセル** バレンタインデー	藤井英一 イラスト・山田いつか
12	「平成ものがたり」　２３年（２０１１年）	早稲田政一
14	レスキューナースからのメッセージ（３５）　元消防士・救命士が手がけている【FastAid】	辻　直美
15	大阪市防火管理協会からのお知らせ	編集部
16	コマンドアイ　大量の煙噴出事案	北方面隊
18	調査鑑識　平成 30 年度消防防災科学技術賞の受賞について（1）	調査鑑識
20	レスキューボイスⅡ　～酸欠空間からの救出～（№１２）	警防課
22	楽楽大阪弁万葉講座　（第２回）子供亡くした親の気は	中村　博
23	大阪市消防局災害活動支援隊　本田　義博	総務課・警防課
24	環状線	各所属
31	環状線番外編　つながる奇跡、『救命の連鎖』	中央消防署
32	大阪の消防NEWS	摂津市・交野市・河内長野市・泉州南消防組合泉州南広域各消防本部
34	職務１　平成３０年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練　大阪府大隊	司令課
36	職務２　予防部めぐり　予防部特別査察隊創設１０年	予防課
38	職務３　第６回大阪府下警防技術指導会	大阪府下消防長会
41	職務４　第２１回全国消防救助シンポジウム	警防課
44	自衛消防隊紹介	中央区
44	女性防火クラブだより	平野区
45	健康ダイアリー　新型タバコだから大丈夫？	人事課
46	功績表彰	人事課
48	大阪めぐり（表紙）・編集室	編集部

\#7119/ 救急安心センターおおさかだより

春まだ浅き今日このごろ、底冷えの残る日がつづきますが、皆様はどうお過ごしでしょうか。

日本アレルギー協会より、2月20日はアレルギーの日とされています。今月は、救急安心センターおおさかに相談後、119 番に転送され緊急入院となった事例のうち、放置すると重症化する恐れの高いアレルギー反応「アナフィラキシー」についての事例をご紹介します。



【事例１】
　　１歳男児：急に咳と発疹がでてきたもの。
【事例２】
　　５歳女児：ピーナッツを食べた後、全身にじんましんがでてきたもの。

これらは昨年２月頃の事例で、いずれも看護師からの迅速な 119 番転送により救急車が出動し、病院搬送後の適切な治療により、後日軽快退院となりました。

～救急安心センターおおさか から～



「アナフィラキシー」とは、原因となる物質（アレルゲン）を食べる、さわる、吸い込むなどにより体の中に入った際に起こる全身反応です。

症状については、主に皮膚症状（発赤、発疹、蕁麻疹等）をはじめとして、呼吸器症状（喘息様呼吸、呼吸困難）、循環器症状（血圧低下、不整脈）等と多岐にわたり、重症の場合、アナフィラキシーショックという生命に危険を及ぼす症状に発展する可能性があります。

アナフィラキシーを完全に予防することは困難ですが、上記のような症状が認められた場合は、早期の病院受診をお勧めいたします。

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
12 月中合計	1	1	8	43	53	4	0	0	7	64
平成30年12月末累計	13	26	139	371	549	51	1	5	133	739
平成29年12月末累計	17	28	166	461	672	57	2	2	185	918
累計比較	▲ 4	▲ 2	▲ 27	▲ 90	▲ 123	▲ 6	▲ 1	3	▲ 52	▲ 179

◎救急概況

	救急出場
12 月件数（概数）	21,287
平成30年12月末累計	242,612
平成29年12月末累計	229,013
累計比較	13,599

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成30年12月末累計	1,310	5,266	2	2,002
平成29年12月末累計	1,171	1,186	7	1,236
累計比較	139	4,080	▲ 5	766



特　集

平成31年 消防局長年頭訓示

消防局長　城戸　秀行

あけまして おめでとうございます。

職員の皆様には、平成31年の新春をご家族ともども健やかに迎えられたことと、お慶び申し上げます。

本年は皇位のご継承を控え、新たな時代の幕開けの年でありますが、市民の皆様と共に歩み育んでいただいた大阪市消防局の良き伝統を継承し、新しい時代に即した消防へ成長していく大事な1年の幕開けでもあると考えています。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で多くの自然災害が猛威を振るい、改めてその恐ろしさを痛感いたしました。

本市においても6月の大阪北部地震や9月の台風21号により多数の被害があったほか、7月の西日本豪雨に際しては、土砂崩れや河川氾濫等により甚大な被害のあった広島県へ緊急消防援助隊を派遣し、約1か月にわたり対応に当たりました。

一方、昨年中の本市の火災件数は、自治体消防発足からの歴史を顧みても記録的に少ない741件に終わり、焼損面積も比較的少ない5,042㎡となりました。もちろん、これらは市民の皆様の火災予防に対するご理解、ご協力があってのことですが、そこに至るには当然に日頃から職員の皆さんの市民の命を守るという、消防職員としての使命感をもって、果敢な警防活動はもちろん日々の防火指導、立入検査、違反是正指導などの業務に真摯に取り組んでいただいた成果であると認識しています。

かたや救急件数は年々増加傾向にあり、昨年は夏の猛暑に伴う熱中症の多発等も影響して過去最多となる件数を記録し、職員の皆さんには厳しい勤務環境に対応していただきました。

これら昨年の活躍は、市民に安全と安心を提供する大阪市消防局の使命を存分に果たしていただいたものであり、心より感謝します。

ところで、当局としましては、これらの災害から防災の中核を担う大都市の消防として、時代とともに変遷する様々な災害時の消防への要請に、常に万全を期し、備え、臨むことにより、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」を目指していかなければなりません。

今年の6月にはアジアで初となるG20大阪サミットが開催され、2025年には、大阪での国際博覧会の開催も控えています。今後、本市を訪れるすべての皆様に対して、高度で行き届いた消防サービスを提供するということで、国際観光都市大阪の都市格のさらなる向上に貢献していきます。

また、先ほど職員の皆さんに向けて、吉村市長から今年の全市的な方針が伝えられたところです。

平成31年市長年頭あいさつ要旨

将来にわたり豊かな大阪の実現のため、「市民サービスの拡充」と「大阪の改革と成長」を確実に実行し、着実に市政を前に進める。

「子どもの教育・医療無償都市大阪」をめざし、3歳児教育の無償化に取り組み、18歳までの医療費の無償化を継続する。併せて、子供たちの学力向上、教育環境の充実、安心して子育てしやすい環境整備を進める。また、待機児童ゼロに向けたあらゆる施策に取り組み、子どもの貧困対策、児童虐待防止の推進もさらに充実させる。

高齢者、特に真に支援を必要とする方を支えるため、特別養護老人ホームの整備、認知症対策を進める。また、障がいのある方、女性、若者など意欲ある人が存分に能力を発揮できる社会を目指す。

災害対策により一層力を入れる。防潮堤の耐震対策・補強をさらに進め、また、大規模地震発生時等には平時モードから災害モードへの切替えを的確に市民等へ伝える。ソフト面、ハード面で防災・減災に向けた災害に強いま

ちづくりを進める。
大阪の成長戦略については、夢洲に統合型リゾート（IR）を誘致し、２０２５年国際博覧会との相乗効果によりベイエリアが国際的な観光拠点として成長する大きな起爆剤とする。また、うめきた２期のまちづくり、なにわ筋線、淀川左岸線の延伸などを着実に進める。
市民の税金で成り立つ財源を無駄に使わないよう市政改革を続ける。無駄をなくし、効率化を図る。ＩＣＴ化もその一環。財政についても、市債を確実に減らす。職員一人ひとりが意識を強く持ってほしい。
本年６月に開催される世界最高峰の国際会議Ｇ20を成功させて、世界都市として力があることを世界中に発信する。
これまで進めてきた大都市改革を確実に進めて、大阪府と大阪市の二重行政を二度となくし、大阪の成長を図っていける仕組みづくりをしっかりと進めていく。
職員一人ひとりが職場で持つ役割を丁寧に、着実に、誠実に実行することが行政への信頼、市民生活の向上、福祉の向上、大阪の成長につながる。無駄なものをなくし、市民にプラスにする観点から職務に励んでほしい。

このような全市的方針も踏まえ、平成31年の消防局重点目標として次の５つの項目を挙げています。

●１つ目は、
「住宅火災の発生件数の低減及び被害の軽減」です。
建物火災では依然「住宅」での発生が多くを占めることから、住宅用火災警報器の維持管理の促進を主眼とした防火指導と「放火されない環境づくり」の推進により発生件数を減らすとともに、職員の消火活動能力のさらなる向上により被害を最小限に抑えます。

●２つ目は、
「事業所の防火・防災管理の徹底」です。
消防法の改正や民泊制度などの新たな消防ニーズの広がりに対応し、市民はもとより国内外から大阪を訪れる観光客が安心して利用できる、消防法令に適合した安全性の高い施設を増やすため、重大な消防法令違反には徹底した是正指導に取り組むとともに、事業所の自主的な防火・防災管理を促進します。

●３つ目は、
「救命の連鎖の強化による救命率の向上」です。
高齢化の進展等により増え続ける救急件数に対して、応急手当の普及啓発の推進や救急安心センターの利用を促進するとともに、高度な救命処置が行える救急救命士の養成など救急救命体制を強化し、市民とともに救命の連鎖を強化することで、救命率の向上を図ります。

●４つ目は、
「大規模災害への対応力の強化」です。
今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、区役所や地域団体などと連携し、様々な層の防火・防災の担い手に対してきめ細かな指導と支援を行います。また、大規模災害に対する消防活動体制をさらに充実強化し、自助・共助・公助における災害対応力の向上を図ります。

●５つ目は、
「市民の信頼と期待に応える消防職員の育成」です。
職員すべてが市民に安全と安心を提供するにふさわしい高い倫理感を常に持ち、公私を分かたず服務規律を遵守しなければなりません。また、職務の遂行にあたっては、自ら能力の向上に努め、誇りと意欲を持ってその能力を存分に発揮できる職員の育成に取り組んでいかなければならないと考えています。

以上の５つの項目を重点目標として市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」をめざし、今年も一年、職員一丸となって、市民の負託に応え続けていきたいと思いますのでよろしくお願いします。
また、組織運営にあたって考えている姿として一点付け加えたいのが「厳しく温かい組織」です。仕事を進めるに当たっては、自らを律してしっかりと厳しい心がけをもって当たることが当然ですが、それだけでなく、どこか根底には温かいものが流れている、人の気持ちや痛みがわかる、相手を思いやれる、そういった組織を運営していきたいと考えているので、ご協力をお願いします。
終わりに、今年が平穏で実り多き一年となりますことを祈念しまして、年頭にあたっての訓示とします。

中島　幸子さんからのご紹介
『　二村　知子さんを訪ねて　』



株式会社隆祥館　代表取締役

二村（ふたむら）　知子（ともこ）さん

プロフィール

幼少期より、シンクロナイズドスイミングを始める。井村雅代コーチ（当時）の厳しい指導のもと1976年と77年には、チーム競技で2年連続日本一位になり、日本代表選手として出場したパンパシフィック大会でも2年続けて世界第3位となる。

現役引退後、実家の隆祥館書店に入社、

2005年、地元である谷町が生んだ作家直木三十五（スポンサーを意味するタニマチは直木三十五も支援した谷町の医師、薄恕一が語源とも言われている）を記念する「直木三十五記念館」が設立される際、準備委員会のメンバーに参加し、現在も委員を務める。

2009年から、大阪府書店商業組合の経営活性化・書店環境改善委員会の委員長に就任。

来店が困難な身障者や、高齢者への配達サービスを8年前から始め、2011年10月からは、「作家と読者の集い」と称して作家と読者を直接つなぐトークイベントを開催し、2018年には200回を突破した。2016年からは子育てをする親御さんを書店の立場から応援するイベント「絵本と遊びで心を育む　ママと赤ちゃんのための集い場」を毎月開き、温かい社会を目指している。それら、単に本を売るだけではない地域に貢献する姿勢が注目を浴び、「AERA現代の肖像」はじめ「NHKニュースほっと関西」や、新聞に取り上げられている。

シンクロナイズドスイミングが礎

小学校2年生の時に、泳げなかった私を母が浜寺水連学校に入れてくれました。卒業時に、日本泳法かシンクロのどちらかを選ぶように言われてシンクロを選びました。本格的にシンクロを始めた頃は、オリンピックの種目にもなっていなかった時代でしたが、練習は厳しく徹底的に鍛えられました。

日本代表の合宿は、朝6時から個人メドレー（バタフライ、クロール、バック、ブレスト）潜水で50mを往復するのが朝食前の練習メニューです。飛び込み用プールで腰に重りを付けて手を挙げて立泳ぎをした後に、音楽に合わせた演技練習。ランチの後も延々と練習が続き、1日8時間以上水の中にいるのが日課でした。

井村雅代先生に鍛えられて、シンクロの黎明期の1979年から環太平洋パンパシフィック大会において連続世界3位に入賞する事が出来ました。シンクロの練習は、見た目よりも過酷で、「もう限界です」と井村先生に訴えた時に、「限界は私が決める」と一喝されました。

しかし、それらの経験が厳しい出版業界で本屋を継続していく礎になっています。

本に助けられた

私が本を販売することに誇りを持ち、がんばろうと思うのは、自身の経験から本の力を信じているからです。本は人を助けることができるのです。30代前半に、自分の身に決して起こらないであろうというぐらいのショックなことが、ありました。生きる希望を失って、もう死にたいと思っていたのですが、死のうと思ってもなかなか死ねなくて、そのときに出会った本が、星野富弘さんの『愛、深き淵より』という本でした。

それは教え子の中学生の前で模範演技をした際に、着地に失敗して、頸椎（けいつい）を損傷して口しか動けない状況になられた元体操選手の星野さんが、口で絵や詩を書いて個展を開くまでを綴った記録です。死にたいと思っても、死ぬことすらできないのです。その本を読んで、自分の甘えに気が付き、「ああ、自分は、何て甘えてるんやろう」と感じたのです。本には生きる力、希望を与える力があります。私自身が本によって助けられたので、自分が読んで感動した本を、お客さんに薦めたい、伝えたいと思うようになりました。

販売の姿勢はどの本を喜んで貰えるか。お客さんの顔と名前は勿論、その方の嗜好も憶えていますので、新刊情報に必ず目を通して、店や電話などでご紹介しています。

自分が販売する以上は責任を持って、読者と本を繋げたいと考えています。父はどんなに経営が厳しくても、地域の方の為に24時まで店を開け

ていました。
今も小さな書店には理不尽な業界ですが、以前はもっと本の流通の仕組みが不平等でした。本を取り次ぎ店に返品すると、大型チェーン店には翌日に全て電子決済で返金されるのに、一般の書店は20日以降は翌月とされて、資金繰りが厳しかったのです。これを解決したのが父でした。2009年に「大手書店と扱いが違うのは不当だ」と公正取引委員会に直訴して、6年後に是正されました。

作家と読者のつどい

その亡くなった父の言葉が隆祥館の経営哲学になっています。ご紹介すると「作家と読者への橋渡し、そしてその心の交流の仲介者となる。出版を、ただ売れれば良いという商業主義の餌食にすることなく、出版を文化として支える」というものでした。
作家と読者の集いは私たち書店員が本を読み、作家さんにも逢ってお話を聞き、読者を裏切らないイベントにしようと皆で誓って8年前から始めました。
100回を突破した時に、100人の著者の方々に「作家になるために礎となった本」等。お薦めの本を並べた棚を店内に設けました。古い本が多いのですが、本に独自の価値観をお持ちの方は気付いて下さいますし、「こういう棚があるといいなと思いました」と大学の先生からも、声を掛けていただきました。読者の方にとってはすべてが新刊なのです。
昨年200回(12月現在で215回)を越えましたので、今年には棚を増設する予定です。

ジャンルは広い

お越し下さった方は皆、思い出深いです。
3・11東日本大震災があった時に原子力発電所の事故が発生しました。放射能の人体に与える影響について諸説あり、また政府の広報にも疑問がありました。お客さんのリクエストで、京都大学大学院助教の小出裕章先生の話が聞きたいという事になり、小出先生には一年がかりでお願いに上がり、放射性物質の専門家として書かれた本を基にその影響についての話をして頂きました。50歳を過ぎると依存度は低いのですが、小児までの影響は特に高く45歳以下の人にも影響があります……。
ご近所にも茨城県や福島県から避難して来た人が居られて、参加されていました。
「ロングブレスダイエット」の作者・美木良介さんは腰痛で歩けなくなり、呼吸法の体操で良くなった体験の本を出されました。読むだけでは良く分からないから、実践体験をしてもらって、体験談を聞かせて貰いたいと企画しました。まず土曜日に隆祥館の上の会場で開催。翌日の日曜日にも私が、深江のスイミングスクールで、マスターズシンクロを教えていた関係で、プールの体操場で実践体験講座と二日続けて行いましたが、大変好評でした。
また、『例解学習国語辞典第9版』を編集された深谷圭介先生をお招きして就学前から小学校6年生までのお子さんを対象に、「辞書引き学習会」を開きました。言葉はとても大事だと思うのです。定員は120人だったのですが、170人お申し込みがありました。
100回を突破した頃からジャーナリストや作家、大学の教授からも「隆祥館で話がしたい」という逆オファーがあるようになって、有難い事ですが、以前は月2回だったのが毎週でも目一杯になって来ました。嬉しい悲鳴です。



地域のために

この作家と読者の集いについては地域にも波及していて、

２０１８年11月にはＰＴＡの親御さん達からの依頼をいただき高津中学校区・五校園の成人教育で、『「読書は心の森林浴」―心にシンクロする本との出会いを―』と題してお話させていただきました。地域で、このようなイベントをしている事を知らない人にも知っていただく機会を作りたいと言うことでＰＴＡの方々が企画して下さいました。

本を薦める歓び

お客さんが海外出張に行かれる時に、何かいい本がありますかとお訪ね頂いたので、「典獄と９３４人のメロス」をおすすめしました。

明治時代の横浜刑務所長、椎名典獄は、「囚人にむちと鎖は要らない。教育で更正させる」という方針で、囚人たちの名前を全部覚えて、家族のように接して風紀の良い刑務所に作り変えるんです。

ところがそのあと、関東大震災が起こってしまって、刑務所が倒壊してしまうのです。椎名典獄が、自分の責任において囚人たちを解放するんですね。解放するんですけども、亡くなった方を除いて全員が帰ってくるという本で「泣きました。こんな素晴らしい日本人が居たんですね…」と勧めた方から出張先からメールが届きました。

地域社会ライフプラン協会からの依頼

総務省の外郭で、地域社会ライフプラン協会という団体があります。生涯に渡る人生設計を応援する組織で、そこから本の紹介の依頼を受けました。読書を一生涯のものと考えている隆祥館の姿勢と本のチョイスを評価頂いたのかもしれません。そこで『典獄と９３４人のメロス』と、『トライアウト』『老乱』という本をお薦めしました。どれもが人生において大切なことを教えてくれる三作品だと思います。

両親の介護を経験して

５年位前から両親の体が弱って、介護をするようになりました。朝８時30分から、夜中12時まで店で仕事。店を閉めて上に上がって軽い認知症になっている母を１年半位介護しました。気丈で、経理をはじめ全てを完璧にこなしていた母が、なんでと泣いた事もありましたし、げっそり痩せました。

３年前に父が亡くなった時に、介護士の妹と、医者をしている弟が話をして、母の状態を看ながら、店をしていくのは大変だろうと、妹が母を病院に入院させて亡くなるまで１年半付き添い面倒を看てくれました。

一人で両親の世話をしていた時は大変でしたが、看ていて良かったと思いました。

ある日、家庭画報を買いに来られた方に、「明日、新しいのが入りますが、古いのでいいですか」と声を掛けると、「親の介護をしていて外に出る事がなかったので、これでいいです」と言いながら泣きそうになられました。年上の方でしたが「お気持ち判ります」と言うと号泣されました。介護をした人にしかわからない辛さを理解してもらえたと分かった時に、内に抱えているものを出されたと思います。

私自身が深夜まで店頭に立つのでイベントをするための読書はどうしても深夜になります。しんどいときもありますが、それでも素晴らしい本は作家さんや編集者さんの情熱が熱いままに読者に伝えたいし、何より薦める私が理解していないといけません。

だから、アマゾンや大型書店のように何でもある本屋ではありませんが、本当に感動できる中身のある本、心を掴んで離さない本は置いている自信があります。これからも、隆祥館書店にお越しいただけるお客さんのためには、お役に立ち続けたいと思います。ぜひ、作品を吟味してお薦めする「作家と読者の集い」にも来ていただきたい。

アマゾンのように莫大な営業収入を誇る大企業がある一方で、隆祥館書店は顧客一人ひとりと「書」を通じて直接つながり、金銭換算できない価値を大切にしていこうと考えています。

隆祥館書店がめざしていることは、お客さま一人ひとりにとって「かけがえのない存在」になることです。お金や名を残すのではなく、経営が厳しくても「未来のために貢献できたら」と考えています。これからもどうぞよろしくお願いします。

ニュース・カプセル

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、
その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第58回

バレンタインデー

◎コラムニスト　藤井　英一

あまーい「2月14日」

1年に1回の、あまーい日が間もなくやって来る。チョコレートだから、苦味もあるかも知れませんがね。言わずと知れた2月14日の「バレンタインデー」である。

商売熱心なお店では、1月から商戦を活発化させている。高齢者の耳にも、「パティシエ」という言葉がなじんできている。

今年の新顔は、W杯日本開催にちなみラグビーボール型が登場するかな？テイストのアクセントは、ワインそれともブランディー？

ルーツは「ローマの司祭」

何はともあれ、バレンタインデーの来歴から。3世紀初め、ローマでバレンチノという司祭が皇帝クラウディウス2世の迫害を受け処刑されたのが、2月14日。皇帝は、強兵策として兵士の結婚を禁じていたが、これに司祭が反対、次々と兵士を結婚させたのが、処刑の理由といわれている。宗教的祝祭日の色彩が次第に薄れ、14世紀ころから「愛の告白の日」に変わっていった。

欧米では、プレゼントはチョコレートとは限らないが、日本では「愛の印」として女性が男性にチョコレートを贈っている。バレンタインデーとチョコレートを結びつけたのは、もちろん商魂たくましいチョコレートメーカー。

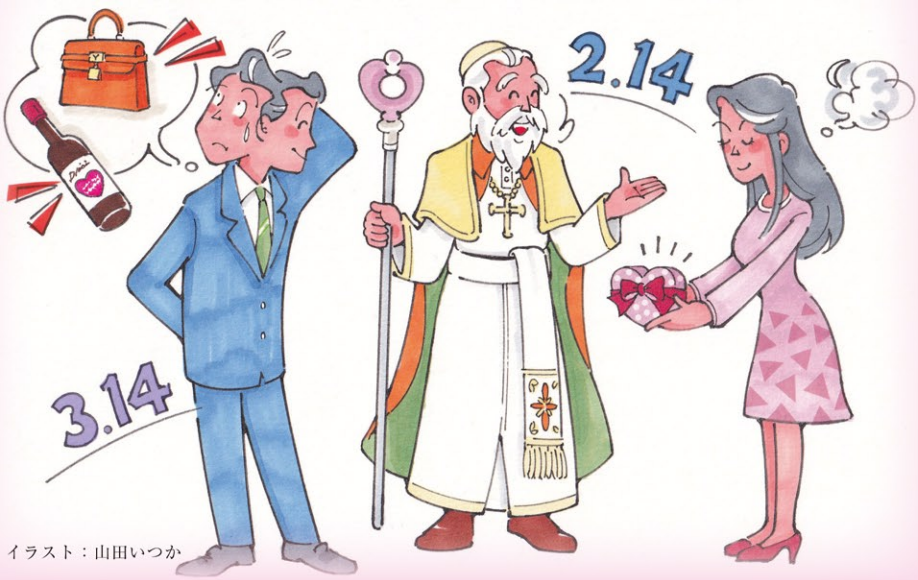
1カ月後の3月14日には、そのお返しをするホワイトデーも設定されている。こちらは、1970年代に、全国飴菓子工業協同組合傘下のキャンディーメーカーがアメの売り込みを図ったのが起源ともいわれている。男性からの「愛のお返し」は、気の利いた小物類やファッション商品など、多様化の傾向。

ネクタインデーも

愛のやりとりには、2月29日の「LEAP　DAY」もある。4年に1度「LEAP（跳躍）する日」で、イギリスではこの日、伝統的に女性から男性へのプロポーズが公認されている。こちらはネクタイメーカーが相乗りして「ネクタインデー」とも。ただし、29日は閏（うるう）年にしか巡ってこない。ちなみに直近の閏年は2020年。2度目の東京五輪の年だ。

お返しのホワイトデーで、少々無理をして仏ワインを贈ったことも、かつてはあった。ハートマークのエチケット（ラベル）で知られるボルドー産CHカロン・セギュール。「好かれたい」との邪念も少々混入していた。2000年初頭までは1本5千円を超えなかったが、最近の当たり年価格は1万円オーバー。年金暮らしには手が出ないし、肝心のモテたい感も急速減退。

で、今は「女児の孫に、何を返したら喜んでくれるだろうか」。マイホーム爺さんが繰り返す、独り言。



イラスト：山田いつか

平成ものがたり 23年（2011）

コラムニスト　早稲田 政一



事故直後の東京電力福島第1原発。1、3、4号機の建屋が破損し、3号機からは煙が上がっている＝2011年3月17日、毎日新聞社ヘリから（毎日新聞「平成の原子力」面より）

2011年3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード（M）9・0の「東日本大震災」。巨大津波が東北各県の太平洋岸地域を一瞬にして呑み込み、福島県の東京電力福島第1原発はメルトダウン（炉心溶融）という最悪の事態に陥った。日本人が経験したこともない巨大複合被害の中、人々は何を支えに復興の道を歩み出し、どのような課題が立ちふさがっているのか。あの日から8年を迎えようとしている。

3・11東日本大震災　街に原発に大津波襲来

▼人が家が、呑み込まれた

気象庁が発表した地震の規模を示すマグニチュード（M）は9・0。今回のエネルギーは関東大震災（1923年）の約45倍、阪神大震災（1995年）の約1450倍。1900年以降に起きた世界の地震では1952年のカムチャツカ地震と並ぶ世界第4位の規模。

東日本大震災では15，895人が死亡、2，539人が行方不明となっている。（2018年3月10現在）

私はその日、東京・上野公園内の美術館にいた。突然、作品と壁がガタガタ大揺れ、床が激しく突き上げる。飛び出すと、目前の神社の石垣がバタバタと将棋倒しに。地面が左右に大きく揺れ、座り込む女性たちの悲鳴。長い間、横揺れが続いた。

1時間余かけ東京駅まで歩き、またま動いた新幹線に飛び乗り、未明に宝塚の自宅着。初めてテレビニュースを見て、目を疑った。リアス式海岸の東北各地に襲い掛かる巨大津波。住宅や車がまるでオモチャのように流されている。東電福島第1原発の全電源喪失は衝撃だった。冷却水循環システムが動かなければ、原子力建屋格納容器内の核燃料に重大な危機が訪れる。経験のない待ったなしの苦難が始まった。原発安全神話も崩壊した。

▼福島第1原発、メルトダウン

福島第1原発は高さ15㍍の津波に襲われ、敷地内浸水で全電源喪失した。運転中の1、2、3号機は核燃料が露出しメルトダウン。1、3、4号機で水素爆発も起き、大量の放射性物質が大気中に放出された。周辺住民は長期間の避難を強いられ、溶けた燃

はやりことば

【アラブの春】チュニジアで民衆の民主化デモが激化。23年間もの間強権政治を続けたベンアリ大統領が1月15日に国外脱出して、政権崩壊した。エジプトでも民衆デモが激化。2月12日にはムバラク大統領が辞任し、軍の最高評議会に全権を委任した。この後もリビアのカダフィ政権崩壊、イエメンでは大統領宮殿への砲撃でけがをしたサレハ大統領が隣国のサウジアラビアに向け出国するなど、民主化の動きが急速に伝播していった。これらを総称して「アラブの春」と呼ばれるようになった。チュニジアの動きは、「アラブの春」の起爆剤的役割を果たした。

【AI（人工知能）】学習・推論・判断といった人間の知能を持ったコンピューターシステム。この年2月17日には、米IBM社が開発した人工知能がテレビ番組で人間のクイズ王に圧勝した。以降、囲碁や将棋でもプロ棋士VS人工知能の対戦が組まれ出したが、対戦成績を見るとどうも人間に分が悪いようだ。17年からは簡単な用事を処理できる小型で安価な音声対応型AI家電が発売され出した。「AIによってそのうち、人間が職場を失う」と懸念する声も。

【キャサリン・フィーバー】英ウイリアム王子とキャサリン妃が結婚式。一般家庭出身の女性とは約350年振り。100万人が沿道でパレードを祝った。ウイリアム王子は故ダイアナ元妃の長男。ダイアナ・フィーバーに劣らぬ祝意が国民から寄せられた。

【メルトダウン（炉心溶融）】チェルノブイリ原発事故（86年ソ連時代に発生）から25年後に起きた東京電力福島第1原発事故。1、2、3号機の原子炉内で核燃料が相次いでメルトダウン。8年近く経過した今も、格納容器内の実体が十分には分からず、対策も手探り。民間事故調の調査を指揮したジャーナリストの船橋洋一（元朝日新聞主筆）が、「福島第1原発事故を「戦後最大の危機」としてえぐった「カウントダウン・メルトダウン」上下巻を文藝春秋社から12年に刊行。著者は「福島第一原発危機は、究極のところ、日本の『国の形』と日本の『戦後の形』を問うたのである」と結論付けている。

【消費税と社会保障の一体改革】民主党政権が自民、公明両党に提案、党首会談で合意をみた。6月30日に決定した与党民主党案は、10年まで段階的に消費税を10％にするという内容。12年の衆院選で自民・公明連立政権が誕生、19年現在の消費税は8％。10月に安倍晋三政権が予定している消費増税と社会保障一体改革の動向が、注目される。

【下町ロケット】作家の池井戸潤さんの「下町ロケット」が直木賞受賞。下町の中小企業の職人たちが磨いてきた技術と熱く燃える職人魂で、ついに国産ロケットとして採用されるという感動ストーリー。テレビドラマ化され、日本のモノづくりを支えている、全国の中小企業の労働者に元気を与えている。

【幸せの国ブータン】ブータンのワンチュク国王夫妻が来日。国王は民族衣装姿で国会演説。経済成長ばかりを重視するのでなく、その国が持つ多様な生き方・価値観を大切にすることの必要性を語った。「幸せの国」と形容されるブータン。国王夫妻は11月18日、原発事故のあった福島県相馬市の小学校を訪問。子どもたちに、「みなさんの中に人格という竜がいます。年を取って経験を積むほど竜は大きく強くなります」と、励ました。

料（燃料デブリ）のほとんどは圧力容器を突き破り、格納容器の底に残ったままとなっている。国際的な事故評価尺度で最悪のレベル7となった。

当事者らは「巨大津波は想定外」と釈明するが、原発の安全対策は根底から崩れた。次々に迫る危機に必死で応急対策。民主党の菅直人首相が自ら東電本店を訪れ、「（福島第1原発からの要因）撤退などあり得ない。撤退したら東電はつぶれる」などと叱責したシーンが印象的だ。日に夜を継いで、地上からは消防車、空中から自衛隊ヘリの決死の放水冷却作戦が敢行され、ぎりぎりのところで原子炉の冷温状態を保つまでになった。

「安全」に、想定外があってはならぬ

▼国内全原発がいったん停止

事故を受け政府は12年、原子力規制部門を再編し環境省の外局に原子力規制委員会を発足させた。「独立性」「透明性」を掲げ、原発の新しい規制基準を策定した。津波・地震対策を強化し、苛酷事故対策も義務化した。

「想定外」があってはならないのだ。

福島事故後に国内17原発54基はすべて停止。新規制基準に適合し、再稼働したのは5原発9基にとどまる。

新規制基準では原発の運転は「原則40年」に制限。電力会社にとって出力の小さい原発は多額の安全対策費が重荷となるため、福島事故後に福島第1を除き6原発9基で廃炉が決まった。しかし、大量に出る放射性物質を含む「ごみ」の処分場は決まっていない。

安倍晋三首相が13年、東京五輪招致演説や質疑で「状況はコントロールされている」「（汚染水問題は）結論から言って全く問題ない」などと発言し、批判を浴びた。

▼被災地石巻の女子高生

大震災から約7カ月半後、住民の避難所にもなった宮城県立石巻高（石巻市）を訪ねた。

校舎の日和山から石巻市街地を一望した。建物が消え宅地だけが無言で広がっていた。ところどころに巨大なゴミの山が築かれていた。

石巻高は作家の辺見庸さん、歌手・俳優の中村雅俊さん、衆院議員で元財務相の安住淳さんの母校でもある。先輩を亡くした書道部の女子高生らに話を聴いた。「4月14日から1週間、神田正輝さんや舘ひろしさんら石原プロの炊き出し慰問隊と、近くの中央公民館でボランティアをした」「それまでふさぎ込んでいたが、悲惨な状況を客観的に見ることができるようになった」「カレー、トン汁、焼きそば、ぜんざい……。1万4千食つくった。ボランティアをした自分が逆にいやされた」。彼女たちは、一気に語ってくれた。

山を下り近くの門脇小へ行った。3階建て鉄筋校舎が無残に焼けただれていた。漂流油が引火し3日3晩燃え続けたという。児童らの姿が消え、瓦礫だけが残る。玄関近くに花が手向けられていた。同行した書道家の辻本大雲・毎日書道会理事が、「黔（くろ）ずみし　学舎（まなびや）哀し　花陰に」との句を詠んだ。



事故から7年以上が経過し、汚染水などのタンクが並ぶ福島第1原発では廃炉に向けた作業が続く＝2018年7月17日、毎日新聞社ヘリで（毎日新聞「平成の原子力」面より）

できごと2011年

【1月】箱根駅伝で早大が18年振り総合V▽中村富十郎（歌舞伎俳優）死去、81歳。人間国宝▽和田勉（演出家）死去、80歳。「テレビドラマ天城越え」「阿修羅のごとく」▽喜味こいし（漫才師）死去、83歳【2月】八百長問題で大相撲春場所を中止▽和田寿郎（心臓外科医）死去、88歳。日本初の心臓移植手術を68年に執刀▽殺人容疑で告発されたが不起訴▽堀田弥一（登山家）死去、102歳。日本最初のヒマラヤ登頂▽ユージーランド南で地震、日本人留学生ら28人を含む181人死亡【3月】東北新幹線「はやぶさ」デビュー▽与那嶺要（元プロ野球選手・監督）死去、85歳。巨人で首位打者3回、中日監督として巨人の10連覇阻止▽前原誠司外相が、在日外国人から政治献金を受け外相辞任▽尾藤公（和歌山県立箕島高元監督）死去、66歳。4度の甲子園制覇▽坂上二郎（コメディアン・俳優）死去、76歳。「コント55号」▽エリザベス・テーラー（女優）死去、79歳。「バターフィールド8」でアカデミー主演女優賞▽佐藤忠良（彫刻家）死去、98歳。日本彫刻界を代表する巨匠▽秋葉原・無差別殺傷事件で被告に死刑判決【4月】田中好子（歌手・俳優）死去、55歳。キャンディーズのスーちゃん▽大賀典雄（ソニー社長）死去、81歳。音楽家でもあり東京フィルの会長も▽パレスチナ和平合意【5月】ウサマ・ビンラディン容疑者死亡、パキスタン北部で米軍部隊が射殺▽団鬼六（作家）死去、79歳。「花と蛇」など官能小説家▽岡田茂（東映名誉会長、映画プロデューサー）死去、87歳。「網走番外地」「仁義なき戦い」シリーズ▽児玉清（俳優）死去、77歳▽佐藤孝行（元総務庁長官）死去、83歳。口事件で有罪判決。中曽根元首相の最側近▽長門裕之（俳優）死去、77歳。「にあんちゃん」▽豚と軍艦【6月】イタリアが原発再開凍結▽笹森清（元連合会長）死去、70歳。電力総連会長も▽ピーター・フォーク（俳優）死去、83歳。「刑事コロンボ」【7月】南スーダンが分離独立▽原田芳雄（俳優）死去、71歳。「竜馬暗殺」「ツゴイネルワイゼン」▽小松左京（作家）死去、80歳。「日本沈没」「復活の日」▽ソルウェーで連続テロ、77人死亡【8月】女子サッカーチーム「なでしこジャパン」に国民栄誉賞▽前田武彦（タレント）死去、82歳。「夜のヒットスタジオ」司会で人気▽お笑いタレント、島田紳助が暴力団関係者との親交発覚で芸能界引退【9月】野田佳彦内閣が発足▽久万俊二郎（プロ野球元阪神オーナー）死去、90歳▽杉浦直樹（俳優）死去、79歳。「あ・うん」▽岸辺のアルバム▽ワンガリ・マータイ（環境活動家）死去、71歳。04年にノーベル平和賞【9月】鉢呂吉雄経済産業相が辞任。福島視察後、原発事故被災自治体を「死のまち」と言い放ち批判浴びる【10月】トルコで大規模地震、死者500人超す▽スティーブ・ジョブズ（米アップル創業者）死去、56歳▽中村芝翫（歌舞伎俳優）死去、83歳。人間国宝▽北杜夫（作家）死去、84歳。「楡家の人びと」「どくとるマンボウ」シリーズ【11月】西岡武夫（参院議長）死去、75歳。口事件で新自由クラブに参加▽鳴門親方（元横綱隆の里）死去、59歳。「おしん横綱」▽芦屋雁之助（元連合会長）死去、77歳。ゼンセン同盟会長も▽立川談志（落語家）死去、75歳。型破りな芸風、毒舌の社会批評。元参院議員▽西本幸雄（元プロ野球監督）死去、91歳。大毎、阪急、近鉄で8度のリーグ優勝も、日本シリーズで全敗の「悲運の闘将」【12月】横浜DeNAが誕生▽冬柴鉄三（元公明党幹事長）死去、75歳。元国土交通相）▽市川森一（脚本家）死去、70歳。大河ドラマ「黄金の日日」など▽北朝鮮が金正日総書記死去を公表▽森田芳光（映画監督）死去、61歳。「家族ゲーム」「失楽園」▽柳宗理（工業デザイナー）死去、96歳。（朝日新聞縮刷版から引用、敬称略）



レスキューナースからのメッセージ

Vol.35

国際災害レスキューナース
辻　直美

元消防士・救命士が手がけている【FastAid】

2年前、東京池袋で開催された「ぎゅっと防災博」で、ファーストエイド(First Aid、応急処置)について、専門家による処置の完璧さよりも、市民による対応スピードを重視する考え方について「FastAid」という造語を作り、それを団体名にされている一般社団法人ファストエイド(小澤氏、玄正氏が率いる団体)の出展が私の目に止まりました。まず、VRを使い、臨場感あふれる状況設定の中でペットボトルを使った「CPRトレーニングボトル」。これは、心肺蘇生法に今まで全く興味や関心がなかった方々へのアプローチとしてペットボトルを使ったCPRトレーニング。身近で誰にでも簡単に出来る「救命措置」の第一歩の敷居を下げるため、極々簡単な胸骨圧迫のみのCPRを中心としています。「自助」が出来る為には「備え」が必要です。「備え」は知識と体験を踏まえて出来る判断と行動のことで、とにかく慌てて、全て忘れてしまってもCPRだけは止めない。これが「備え」につながります。

次にCoaido119は119番通報とSOS発信を行う緊急通報共有アプリで、倒れている人を発見した人がCoaido119を操作すると、119番通報と同時に事前登録された周辺の救命知識保有者およびAED設置先にSOS情報が送信されて、救急隊が現場に到着するまでに必要となる一次救命処置を要請するアプリです。このアプリは実際に豊島区で実施されており、その後は全国リリースされているようです。

救急車が到着するまでに出来る事はあると考えていた私にとってCoaido119というアプリは非常に興味深いものでした。全国の救急車到着平均時間は約8.5分間(出典:総務省消防庁「救急救助の現況」、参考までに東京消防庁管内の救急車の到着時間は7.02分、大阪市消防局管内は7.5分と聞いています)、救急車到着までに、その場にいる方の迅速な対応が命を救うことにつながります。大阪市では、平成6年4月から(一)大阪市消防振興協会で救命講習が土・日も行われ、出初式をはじめとするイベントや、地域の方々の要請に応えて各救急隊による救命講習が行われていますが、更なる市民への救命処置の普及が必要です。防災訓練や救命訓練にも参加される人もそんなに多くはないと思われ、もっと簡単にCPRが学べるところがあればと思っていました。

それを形にしていたのが、一般社団法人ファストエイドだったのです。ファストエイドの小澤氏は、消防のポンプ隊兼務救急隊員→救急救命士養成施設教員→独立してハイテク製品の現場活用を開発。玄正氏も別のアプリで心臓突然死の問題解決に取り組んでいましたが、どちらもうまくいかなかった。二人が力を合わせて、一般市民向けの新しいアプリCoaido119を開発して、救急車が到着するまでに出来ることへの教育に着目されたようです。

私も国際災害レスキューナースとして、ファストエイドとパートナーシップを組みました。救命を使命にしている皆さんにこそ、CPRボトルトレーニングを一度体験していただきたいと思っています。

大阪市防火管理協会からのお知らせ

販売図書のご案内



【内容】

- 防火管理者の方が業務を遂行するうえで必要な基本的事項を説明した必携書です
- 防火管理制度や火災に関する基本的な知識、収容人員、消防用設備等の日常管理や危険物等の安全管理、地震対策、自衛消防組織・自衛消防活動要領及び自衛消防訓練、日常の防火管理業務の具体的実例などを掲載しています

平成30年3月1日発行、A4判、258p、図書重量 770g
編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

防火・防災管理のススメ～防火管理編～〔8訂版〕
【価格】 2,000円（税込）
〔会員の方は、特別価格で販売いたします〕

お問い合わせ・ご購入申込み
（一社）大阪市防火管理協会
〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7番11号
TEL：06-6741-2130　FAX：06-6712-2130
E-mail　info@sonae.or.jp

SCHEDULE
防火・防災管理講習日程表

防災管理新規講習

講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：10：00～15：30

回数	開催日
第17回	平成31年3月 4日（月）
第18回	平成31年3月15日（金）

甲種防火管理新規講習

回数	開催日
第42回	平成31年3月 7日（木）、8日（金）（※1）
第43回	平成31年3月19日（火）、20日（水）（※2）

講習会場・講習時間：（※1）両日とも10：00～16：00
大阪市西区民センター
（※2）両日とも10：30～16：30
大阪市消防局

防火・防災管理新規講習

講習会場：大阪市消防局高度専門教育訓練センター
講習時間：両日とも10：00～17：00

回数	開催日
第28回	平成31年3月 2日（土）、3日（日）

甲種防火管理再講習

講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：14：00～16：00

回数	開催日
第14回	平成31年3月11日（月）

防火・防災管理再講習

講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：14：00～17：00

回数	開催日
第13回	平成31年3月 5日（火）
第14回	平成31年3月16日（土）

コマンドアイ

様々な事案から災害活動を振り返る

COMMAND EYE

今回のテーマ

大量の煙噴出事案

北方面隊





クエンチ現象発生時の状況（例）

はじめに

今回は、今年の9月にN管内において画像診断クリニック内の医療用に使用される磁気共鳴画像診断装置（以下、MRIという）の点検中に発生した「クエンチ現象」による大量の白煙の噴出により通報が相次ぎ消防隊が第一出場した事案について考察し、多数の通報者が火災と見間違う現象とはどういうものなのか、人体への影響がどのようなものなのか紹介する。

災害概況

発生日時　平成30年　秋ごろ
発生場所　RC造陸屋根11階建複合用途建物3階
　画像診断クリニック内
気象状況　天候　晴れ
　気温　30.4℃
　湿度　20.9％

事案詳細

本件は、通行人による119番通報により出場、続報が多数入電し、爆発音ありとの指令内容ながら、早期に関係者情報から11階建物の3階クリニック内においてMRIからヘリウムガスの噴出との情報が入り、傷病者は無く消防隊の放水も無かったが、調査の結果、MRIの点検時に人為的な機器の操作ミスによりクエンチと呼ばれる現象が発生していた事案である。

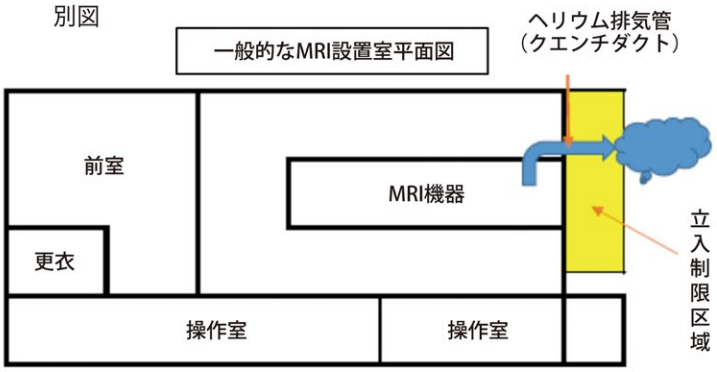
クエンチ現象について

クエンチ現象を大別すると、今回の事案のように機器の操作ミスによりクエンチボタン（強制的にクエンチを発生させ、磁力を消失させる装置）を押下して発生するものや機器の故障によって起きるもの、緊急時に発生させる等の偶発的なクエンチ現象と機器の試験時等において計画的に発生させるクエンチ現象とに大別できる。この2つのクエンチに違いはなく、クエンチ現象発生＝磁力の消失を意味する。

MRIは内部のコイル線材の超電導状態（極めて低温で強力な磁場が発生している状態）を保つため冷却用に液体ヘリウムを使用している。この冷却用液体ヘリウムが電路遮断により温度が上昇しヘリウムガスへ気化する時には爆発的な気化膨張が発生する。ヘリウムガスの基となる液体ヘリウムは、MRIの能力差による充填量によって違いがあり、使用期間により減少していくことから正確な保有量は把握できな

いが、気化時に約700倍、最大条件で1，000㎥（25mプール程度の量）ものガスへと急激に膨張する。このガスは極低温のため大気中に放出されると、白い蒸気となる。この現象がクエンチ現象と呼ばれ、この蒸気が白煙と誤認され火災通報に至ったものである。

別図



クエンチ現象発生時の危険性

前述のとおりクエンチ現象は大量のヘリウムガスが発生するが、ヘリウム自体に有毒性は無く、吸引時に変声するガスとしても一般的に広く知られており、今回の事案詳細のみを考察すると、人的被害は無く、特に危険性の無いガスのように思われる。しかし、ガス自体は酸素を含まないため、多量吸引による酸欠の危険性があり密室状態であればさらに危険性は増す。また、MRIの液体ヘリウム容器自体が高圧ガス容器のため、設置室の火災等の外的要因により内圧が上昇すれば爆発の危険性もあることやヘリウムガスによる視界不良から起きる2次被害等があり副次的な危険性も考慮する。

過去の発生事例

大阪市内の過去の発生状況

平成26年9月　S管内
平成27年2月　T管内
平成28年11月　S管内

いずれも同様にMRIから白煙状のヘリウムガスが発生し、消防への通報となっており、今回の事案と同様にクエンチ現象が発生したと考えられる。

MRI機器の危険性

ここまでの内容のとおり、MRIがあればクエンチ現象は発生する可能性があり、現場活動時にはMRI自体を確認する必要がある。消防機関がMRIを確認する際にはクエンチ現象が起きた後の機器を確認することとなり、そこに危険性はないのか考察する。

一般的なMRIを導入する施設については別図のようになっているが、この図にあるようにヘリウム排気管がある。これは別名クエンチダクトといい、この構造からもわかるようにMRI設置室はクエンチが起きる前提で施工され、その際に発生する白煙状のヘリウムガスは屋外に排出される仕組みであるのがわかる。また、同室内には酸素濃度計も備えるように定められており、何らかの事由によりヘリウムガスが室内に流入した際には酸欠の危険性がある構造となっている。

MRIと似たような用途に使用されるX線を使用するCT装置と違い、放射線被ばくの危険性は無く、装置の動作原理としては強力な磁石による磁場と電波を使用した画像診断装置であるため、クエンチが発生していなければ、強力な磁石による金属製の資器材の吸着事故、それに付随する隊員の負傷事案の可能性や危険性、及び、その際に発生する接触等による機器の破損には十分な注意が必要である。また、機器ごとに場所や名称は様々だが上記にも記載があるようなクエンチボタンや緊急停止ボタンと呼ばれる磁場を強制的に消失させるボタンもある。そのボタン押下により磁場が一旦消失すれば、クエンチ現象が発生し、機器の復旧に多額の費用が発生するため、緊急を要する場合以外の室内検索作業実施時等には不用意に機器へ触れないなど注意が必要である。

おわりに

以上のような内容からもわかるように、クエンチ現象自体は機械の異常とは考え難く、今回の事案と同様にヘリウムガスが設置室外へ放出されることは多分に考えられ、さらに、大阪市内に多数設置されているMRI全てで発生する可能性を考慮する必要がある。設置全数の把握はできていないものの、市内全域に多数設置されていると考えられ、今後も消防隊の活動時には酸欠の危険性を考慮し、関係者からクエンチ現象の発生との情報を得た場合においても、ヘリウムガスは無害だからと楽観視することなく呼吸器の着装を徹底し、付近の通行人等へは必ず避難誘導を心掛け、また、MRI設置室内への確認作業に向かう際には、必ず関係者を伴って進入することとし、酸欠、磁場の発生に十分注意するとともに、磁場消失ボタン等に不用意に接触することのないように注意した現場活動が必要である。

（文責　奥村）

調査鑑識

予防部予防課

今回のテーマ

平成30年度消防防災科学技術賞の受賞について（1）

消防防災科学技術賞とは、消防科学技術の高度化と消防、防災活動の活性化を目的として、総務省消防庁が消防防災機器の開発・改良及び原因調査事例報告等を募集し、表彰するもので、今年度、当局が応募した事例が優秀賞を受賞した。2回にわたりその概要について紹介する。

SURVEY & INVESTIGATION

全国消防技術者会議

毎年、全国消防技術者会議が東京で開催されている。この会議は、全国の消防の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、他の発表者や聴講者と討論を行うことを目的として、消防庁消防研究センターが主催となり実施しているものである。本表彰制度は、平成9年度から実施されており、22回目となる今年度は、当局が応募した「駐車場の車両から出火、リコールに発展した事例」の事例が優秀賞を受賞し、事例発表を行った。

開催日
平成30年11月21日（水）
表彰式及び事例発表
平成30年11月22日（木）
事例発表

開催場所
東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
ニッショーホール
（日本消防会館内）

消防防災科学技術賞受賞事例
平成30年度消防防災科学技術賞
原因調査に関する事例報告

優秀賞
駐車場の車両から出火、リコールに発展した事例

原因調査に関する事例報告

今年度の消防防災科学技術賞のうち、原因調査に関する事例報告の受賞作品は、危険物施設火災、船舶火災など、多岐にわたる事例が入賞した。いずれの事案においても、原因究明及び火災予防に向けての担当者の苦労と努力がうかがえ、報告内容は今後の火災調査の指針となるものばかりであった。

その中で、当局は「駐車場の車両から出火、リコールに発展した事例」を報告した。内容としては、駐車中の車両から出火した車両火災であり、メーカーとの合同車両鑑識からＩＰＤＭ（電源分配器）の基板上でトラッキングが発生し、出火したものと判定した。焼損状況から同種の火災発生が危惧されることをメーカーに訴え、早期の調査を依頼し、消防研究センター等から情報収集を行い、類似した2件の車両火災の発生を確認した。それらの車両には本件と同じ外注メーカーのＩＰＤＭが積載されていたことから、メーカーに対して早急に出火原因の報告、安全対策の実施を強く要望することにより、出火危険のある基板が生産されている可能性が判明し、3メーカー6車種計316,759台のリコールが発表された。

そこで今回は、全国消防技術者会議において当局が発表した報告内容を2ケ月にわたり紹介する。

火災の概要

本件は、平成29年5月に屋外駐車場に駐車中の普通自動車から出火し、当該車両及び隣接して駐車していた普通乗用車を含む計3台が焼損した車両火災である。運転手によれば、当該車両は5年前に新車で購入し、出火当日は、買い物のためエンジンを切った状態で屋外の駐車場に駐車して車から離れている。これまでに異常はなく、修理や改造もしていない。2月に車検を受け、左のスモールランプを交換し、5月の初めにエンジンオイルとオイルエレメントを交換している。ボンネットはウォッシャー液を交換する以外はあまり開けていない。

発見者によれば、当該車両は無人でエンジンがかかっていないのにも関わらず、ワイパーが動



火災現場の状況

き、ヘッドライトが点いたり消えたりしていた。しばらくすると、車両の左前方から煙及び炎が出てきたため、通報を依頼し、消火器で初期消火を実施している。

車両鑑識の結果について

出火箇所について

車両全体を見分すると、主に焼きが確認できるのはエンジンルーム内で、フレームの変色、部品の焼失状況から左側の焼きが強い。エンジンルーム内を同型車と比較し見分すると、IPDM(電源分配器。インテリジェンス・パワー・ディストリビューション・モジュールの略でワイパー、ヘッドライトアイドリングストップ後のエンジン始動などの作動電源を供給する配電盤のような機能を持つ部品)があった箇所付近を中心にフレームが茶色に変色し、地金が露出している。また、その周辺の電気配線にあっては緑青が見られ、IPDMの基板にあっては、下方に垂れ下っている状態である。(写真1から5参照)

以上のことから、IPDM付近に他と比較し強い焼きが見られることから、出火箇所はエンジンルーム内左部分のIPDM付近であると判定した。


写真1　車両の焼損状況


写真2　同型車のエンジンルーム



写真3　同型車のエンジンルームの左側


写真4　配線の緑青


写真5　脱落したIPDMの状況

出火原因について

エンジンルーム全体を見分するも、エンジンオイル等のオイルが漏えいした痕跡はなく、排気管等にオイル等が付着した痕跡もないことから、オイルの漏えいによる出火ではないと考えられる。

オルタネーター及びスターターモーターに焼きはなく、バッテリーについても、ナットの締め付け等に異常はないことから、バッテリーから出火したとは考えにくい。

当該車両はフォグランプが付いておらず、ヘッドライトにあってもそこから出火した形跡はない。ECU(エンジン・コントロール・ユニット)にあっても、焼きしているものの、内部の基板に焼失は見られず、ECUから出火したとは考えにくい。



写真6　IPDMの基板の焼失状況


写真7　絶縁部の抵抗値の状況

一方でIPDMの残存しているのは基板のみで、見分すると帯状に基板が焼失している箇所が見られ、その付近の絶縁部分の抵抗値をテスターで測定したところ70Ω程度の数値が認められた。(写真6、7参照)

焼き状況、出火時にACC電源が入っていないにも関わらずワイパーの作動等の現象が見られたことからも、何らかの原因によりIPDMの基板上でトラッキングが発生し、その際の通電によってワイパーが動いたり、ヘッドライトが点いたりし、その後、周囲の樹脂部分に燃え移り出火したと判定した。

基板には防湿剤がコーティングされ、構造上も水分の影響を受けにくい構造になっていることから、トラッキング現象が容易に発生するとは考えにくく、製造段階でのIPDMの基板の不具合によって、トラッキング現象が発生した可能性が考えられることから、メーカーに対して、早急に原因調査の報告を求めた。

(文責　山口)

〜次号につづく〜



▼事案概要

本事案は、作業員が台船※（幅3ｍ×奥行10ｍ×高さ2.4ｍ）の船底で漏水点検を行った後、備え付けのタラップにて、屋外に出ようとしたところ、開口部付近で意識を消失し、船底に転落した事案である。

台船内は、長期間海水が滞留する状態で密閉されており、海水が台船内の酸素を取り込み酸素欠乏状態になっていたと推定される。

なお消防隊到着時、ガス検知器による船底内の酸素濃度は、12.8％であった。

※台船とは、海上作業用の箱船で、推進力は無く、クレーンや発電機等の土台にしたり、重量物の運搬に使用するもの。

▼事案概況

◆覚知日時　平成30年5月29日（火）9時12分
◆指令時刻　9時13分
◆消防隊到着
先着消火隊　9時19分
先着救助隊　9時20分
◆台船ハッチ内部の検知作業開始　9時21分
◆消火隊員及び救助隊員の計2名が台船内進入し、検知作業開始　9時22分
◆台船上に、マンホール救助器具設定完了　9時25分
◆要救助者を、台船上（屋外）に救出完了　9時29分
◆要救助者を、岸壁へ救出完了　9時35分

▼指令～出場途上

M消防署ガレージにて、使用前点検実施中に救助トーンが鳴り響いた。

「救助指令　一般事故　M管内M区○丁目○番○号　船内酸欠疑い　45歳男性　意識なし」との指令を受け、私は救助司令として出場した。

「酸欠事案！要救助者の早期救出が求められる事案だ」と私は直感した。

各隊員は、現場装備のまま点検を実施していたので私は、「すぐに出場するぞ！」と隊員に指示し、災害現場に向かった。出場途上の車内にて、隊員に船内進入時の使用資器材としてマンホール救助器具等の準備を指示した。

災害点到着直前、先着S消防署ST小隊長の現場到着無線が入ってきた。

▼現場到着～活動初期

私が現場到着すると、S消防署ST小隊長が台船上の開口部付近で、関係者から情報収集している姿を確認した。

私に気づいたST小隊長から「要救助者体動あり。救出資器材準備」と要請があった。

私が「マンホール救助器具、すでに指示済み。意識ありですか？」と聞くと、ST小隊長から「応答はなし。体動あり」との回答を得た。その時、救助隊員3名が車両からマンホール救助器具等を搬送してきたので、すぐに、「開口部の酸素濃度測定。環境改善用9ℓ空気ボンベの投入準備」と指示した。私は、この間、台船内船底の環境改善になればと、事業者が現場で使

用していた送排風機を開口部に投入した。

台船のハッチ内部50㎝付近での酸素濃度測定は、16．0％を検知した。

ＳＴ小隊長は、面体を着装し要救助者救出のため進入準備を整えていたが、進入隊員１名では負担が大きいと判断した私は、救助隊員１名に進入準備を指示し、台船の既設タラップを活用して2.4ｍ下の船底へ救助隊員とＳＴ小隊長の２名を進入させた。



現場状況全景写真



台船上状況写真

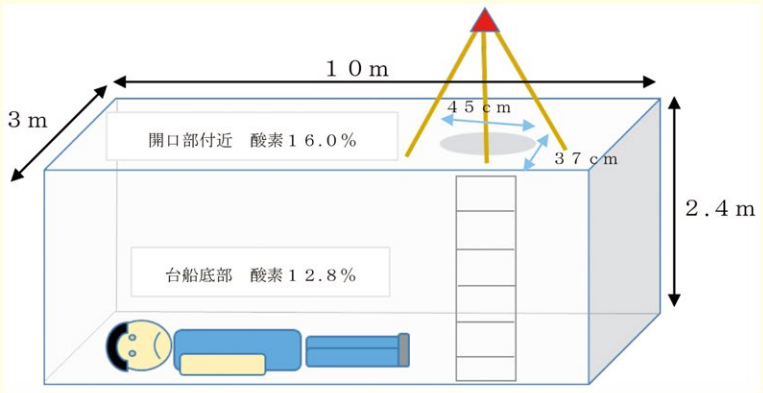
▼要救助者確保及び救出

進入した救助隊員から、要救助者に対してレスクマスクの装着及び「要救助者、意識あり」の報告があった。この時、台船内船底での酸素濃度検知結果は、12．8％であった。

開口部から環境改善用ボンベを投入し、さらに、開口部ハッチ上にてマンホール救助器具の設定も完了した。

進入した救助隊員から「ＳＴ小隊長が携行している１２０㎝のスリングを２本活用して縦吊り救出する」との報告があった。その時、後着のＮ救助隊が現場到着したことから、私は、Ｎ救助隊に「マンホール救助器具にて救出する」と伝え、Ｍ救助隊、Ｎ救助隊の連携により迅速に台船上（屋外）への救出が完了した。

要救助者について、発語はないものの開眼し、自発呼吸もあった。



台船内説明図

▼事案を振り返って

本事案は、本市においても発生件数の少ない酸欠空間での救出事案であった。私自身も、日々行われる救助訓練で何度も想定していた事案であったが、実災害は初めての経験であった。

特に留意した点は、台船内部及び開口部付近の酸素濃度継続検知、環境改善のための送排風機使用及び空気ボンベ投入による開口部付近の酸欠空気の吹き返し、開口部付近の消防隊の進入制限（開口部付近は面体着装）、進入隊員の確保ロープのさばき等であった。

私は、救助隊長として要救助者の救出活動と、二次災害を防止するための安全管理を並行して行う難しさを、痛感した現場であり、日々の反復訓練が重要であると再認識した現場であった。

（文責　内田）

楽に分って楽しい古典

楽楽大阪弁万葉講座

（万葉研究家）中村　博

（作者略歴）犬養　孝教授の万葉集講義を受け、「万葉の旅・犬養　孝著」掲載故地309カ所完全踏破。犬養先生揮毫歌碑142基全探訪。万葉歌4516首の関西弁訳完成「万葉歌みじかものがたり」十巻刊行。「大阪消防」8月号「いらっしゃい大阪消防です！」参照。

（第二回）子供亡くした親の気は

「大阪消防」の一〇月号に、広島の豪雨災害に応援に行った緊急消防援助隊の話が載っていた。

その記事の中に、土砂に埋もれていまだ発見されていない13歳と2歳の子の救出を見守る父親の姿が書かれていた。

困難な救助作業の末、子供が発見された瞬間、冷静に見守っていたその人は、泣き崩れたという。

この記事を読んで、私はねばねばおじさん（山上憶良）を思い出した。

《みんな欲しがる　色んな宝
　そんなんわしは　何にも要らん
　家に生まれた　可愛い古日》
世の人の　貴び願う
七種の　宝も我れは　何せんに
我が中の　生れ出でたる
白玉の　我が子古日は

《朝に起きたら　枕辺来よる
どこに居っても　戯れ付き来よる》
明星の　明くる朝は
敷栲の　床の辺去らず
立てれども居れども　共に戯れ

《日暮れが来たら　早よ早よ寝よや
お父もお母も　傍離れんと
一緒寝るんや　真ん中ぼくと
可愛らし気に　言んやでこの児》
夕星の　夕になれば
いざ寝よと　手を携わり
父母も　傍はな放り
三枝の　中にを寝んと
愛しく　児が語らえば

《早よ大きなれ　善し悪し別に
楽しみ胸に　暮らしてたのに
思いも懸けん　禍い降って
悪い病気に　罹って仕舞た》
何時しかも　人と成り出でて
悪しけくも　良けくも見んと
大船の　思い頼むに
思わぬに　横風の
俄かに　覆い来ぬれば

（中略）

《一寸も良うは　なること無しに
生気無うなり　息絶え絶えで
幼い命　死なして仕舞た》
暫時も　快けくは無しに
段々に　生気崩ほり
朝な朝な　言うこと止み
たまきはる　命絶えぬれ

《飛び上っては　地団太踏んで
ぶっ倒れては　胸掻きむしり
可愛いあの児を　逝かして仕舞た
あって良んかい　こんなこと》
立ち躍り　足摩り叫び
伏し仰ぎ　胸うち嘆き
手に持てる　我が児飛ばしつ
世間の道



今回はちょっと難しかったけど、同じ親の心、伝わったやろか。

大阪市消防局 災害活動支援隊

総務課
警防課



本田　義博
参集署　天王寺
平成28年3月31日退職

1 消防を目指す

大学卒業後、東京でアパレル関係の会社で2年間勤め、念願の消防士を目指して大阪市消防局の採用試験を受け、昭和56年4月に拝命しました。

東淀川を皮切りに、士長時代は予防査察課予防係5年、主任に昇任して淀川で救急隊として4年、予防係をしている時に阪神淡路大震災が発生し、翌日の18日に水上から消防艇で神戸市長田区に救助検索に派遣されました。

2 失敗だった現場活動

司令に昇任して、都島で救助隊長としてヘリに搭乗しての訓練が度々あって、ヘリが大好きな私にとっては訓練が楽しみでした。

「大川で人が溺れてる」の通報で現場に到着すると、隊員達ははしご等の装備を携えていたので遠回りをせざる負えなく、私は土手を真っ直ぐに下った所、頭が沈みかけていたので、そのまま2m下の川に飛び込んで溺者を抱えながら隊員達の到着を待って引き上げて貰った。矢も楯もたまらず飛び込んだが、状況判断が甘かったと反省しています。

3 思い出に残る仕事

施設の係長として、現在の防火衣の開発に携わった事は思い出深い仕事でした。燃焼テストを始め、生地の選定にはいろんなパターンをチェック。試着品を着てもらって、自転車を漕いでもらい心拍数や発汗等のテストをして、試作品を作って職員に試着してもらったりと、実際に活動しやすい防火衣を目指した毎日でした。更に、新庁舎建設に伴う備品の調整を行っていましたので、文字通り大変でした。

それと、災害活動支援隊発足時に装備品一式の製作を伝えられたのが7月で、4か月余りで発隊式にフル装備を整えなければならなかった事も思い出深い多忙な日々でした。

4 余暇の充実が仕事の礎

消防に入って一年後から始めたバードカービング、現在、関西の代表をさせて貰って、毎年、中央公会堂での展覧会を纏めています。それと消防車、飛行機、自家用車等のミニチュアのコレクションは、防災センターをはじめ、淀川、浪速、島之内図書館で定期的に展示をしています。天王寺図書館では、野鳥の会と共催でバードカービングの展示をしており、定期的に入れ替え作業を行うのも、楽しい一時です。

15年前にNHKから「レスキュー隊長が作るバードカービング」として、また関西テレビの「隣の人間国宝」で防災センターのコレクションを見てコレクターとしての取材に来られましたが、バードカービングの作品を見てこっちの方が凄いと急遽取材内容が変りました。

5 公私共に充実した日々に感謝

35年間、健康で大過なく勤務遂行が出来ましたのは、お世話になった上司、同僚、後輩の皆さんのお陰と感謝をしています。

また家族、特に妻には公私共に支えて貰ったから有難かったと思っています。

環状線

大阪各署のホットニュースをお届けします

水上

SUIJO

水上船舶中隊訓練

12月2日、5日の両日、今回で3回目となる洋上での船舶火災を想定した合同訓練が、此花区舞洲沖において神戸市消防局（たかとり）、堺市消防局（茅海）、大阪市消防局（ゆうなぎ、まいしま）の各消防艇が参加して行われた。三都市の各艇が被災船と消防艇に分かれて情報収集、ホース延長、救出訓練、曳航訓練を行い最後に、全消防艇による一斉放水で訓練を締めくくった。なお、今回初の試みとして被災船の曳航が取り入れられ、船舶火災時における一連の作業を行った実災害さながらの訓練が実施された。

訓練後に各消防局が成果や反省点、疑問点を共有するとともに、その検証が行われ連携の強化を図ることができた。また、今回の訓練ではドローンによる空中撮影が実施され、今後、特に洋上での災害では必要不可欠な情報収集源になると期待される。来年度もまた、新たな取り組みを入れたレベルの高い船舶中隊訓練が行われるであろう。（雨森）









福島
FUKUSHIMA

勇気ある救助活動

10月30日の早朝、JRの海老江駅のホームから軌道敷内に転落した男性を通勤途上であった大阪府警察の警察官清水氏が発見。他の乗客が「非常ボタン」を押下し列車が停車したのを確認後、清水氏は機を失することなく勇猛果敢に軌道敷地内に飛び降り、ホーム上の駅員とともに男性を救出しました。

この自身の身を挺した勇気ある救助活動に対し、署長より感謝状が贈られました。(中山)



北
KITA

合同研修会を実施しました

10月30日、北区の公衆集合場防火協議会、危険物防火協議会、自衛消防協議会及び防火協力会並びに大阪市防火管理協会北支部の合同研修会を実施しました。

昨年に引続き、管内の事業所の防災施設見学をメインとし、茶屋町にあるヤンマー本社ビルとMBS毎日放送の2社を見学していただき、その後ホテルサンルート梅田におきまして、予防課調査鑑識係員による「火事を知り、火災から身を守る」と題した火災出前講座を受講していただきました。

多くのご参加をいただき、「我が街を知る」大変有意義な研修会となりました。(吉川)



此花
KONOHANA

女性防火クラブ防災セミナー

11月19日、当署にて防災セミナーを開催し、電気火災、爆発火災、地震火災について実験等を交えながら火災が発生するしくみ等について研修を行いました。

各種実験での出火の瞬間、会場はどよめきに包まれ、火災発生の危険が身近に潜んでいること、それらの火災は防げることを学んでいただきました。

受講された47名の皆様から、更に研修内容が地域の皆様へ発信されることを願っています。(田中)



都島
MIYAKOJIMA

神戸市消防局との合同訓練

12月5日、神戸市消防局水上消防署前桟橋において、神戸市の隊員と当署DR隊員との合同潜水訓練を実施しました。

会話不可、視界不良の水中環境において、普段一緒に訓練を行っていない隊員との意思疎通を図ることの難しさを改めて痛感した。

今後、緊急消防援助隊等においても合同で活動できるよう、今回の訓練を検証し今後に役立てます。(北尾)



港
MINATO

女性防火クラブ防災研修会

12月7日、当署において予防課調査鑑識担当を講師に招き、女性防火クラブ員の防災研修会を開催し、大阪市内の火災概況及び家庭内や日常生活に潜んでいる火災事例などを実験や映像を交えながら学習していただきました。

カセットボンベの残ガス及びスプレーガスの着火実験やトラッキング現象再現実験で炎が噴きあがるのを目の当たりにし、「今まで気にしてなかったけど、今後は注意せなあかんね!」と実感されていました。(平田)



中央
CHUO

私たちの原動力

私たち消防職員が心から嬉しいもの。それは市民の皆さんからいただく「ありがとう」の言葉です。

当署では、事務所内に幼稚園・保育園の皆さんからの「ありがとう」のお手紙や、勤労感謝訪問時の写真、いただいた手作りのプレゼントなどを掲示するコーナーを設けました。職員からは「見るとパワーが湧いてくる『パワースポット』」として大好評。

これからも皆さんからの「ありがとう」を原動力に職員一同頑張ります!(川勝)



大正
TAISHO

大正自衛消防協議会技術発表会

日増しに寒くなる頃、地震災害を想定した大正自衛消防協議会技術発表会が開催されました。

負傷者の救助や可搬式ポンプ・屋内消火栓を使用した消火訓練など統制ある行動を披露していただきました。

今後も各事業所、防火・防災意識の向上に取り組んでいただき、起こりうる災害に備えて地域・消防と協力し被害の軽減に繋げていただきたいと思います。(木村)



西
NISHI

商店街で街頭啓発実施!

12月19日、ナインモール九条商店街・キララ商店街において街頭啓発を実施した。

火気取扱いの増加が予想される歳末の繁忙期において住宅火災を未然に防止し、被害の軽減を目的に広報活動を実施し、当署の啓発キャラクター「かんちくん」が買い物客で賑わう商店街において、広く火災予防の普及啓発に一役買ってくれた。(堀尾)



西淀川
NISHIYODOGAWA

迅速な避難誘導に署長感謝状

11月中旬の夕刻、老朽化した2階建て共同住宅から出火、付近の新築工事現場で作業をしていた3名（西口氏、米盛氏、東氏）は近所の人の声で火事を知り、自らの危険を感じながらも咄嗟に出火棟1・2階全10室に火事を知らせ、在宅していた高齢者2名の避難誘導を迅速・適切に実施されました。

この方々が勤める建築会社「MGK」は普段から社員への防火・防災教育に熱心に取り組んでおられ、代表である松下氏を含む4名に対し署長感謝状を贈呈した。（村上）



天王寺
TENNOJI

女性防火クラブ体験型研修

11月26日、女性防火クラブで体験型研修を実施しました。研修では、市民消防教室（消火避難実践コース）の「消火器訓練」、「天ぷら油燃焼実験」、「地震体験」そして「煙中避難」等を受講されました。クラブ員からは「火災時の対応に自信がついた」などのご意見をいただきました。

この研修により、女性防火クラブ員として家庭からの火災を防ぐとともに、震災時等における隣保共助体制の強化につながりました。
（上野）



淀 川
YODOGAWA

災害に強いまち

先日、「大型除染システム組立訓練」を実施した。このシステムは同時に多数の方を洗浄除染することができ、テロなどの大規模なNBC災害発生時には対応の要となるもので、参加者全員が真剣に取り組んでいた。

大阪市では6月にG20大阪サミット、2025年には大阪万博と大きな会議、イベントの開催が決まっている。引き続き訓練や研修を行い備えることで「災害に強いまち」を目指します。
（平田）



浪 速
NANIWA

素早い行動と見事な連携

11月12日、エディオンアリーナ大阪で卓球大会の参加者が突然倒れました。事務所で連絡を受けた降井さんは、スタッフに119番通報を指示するとともにAEDを持って会場に向かい、男性の心肺停止を確認するや否や駆け付けたスタッフの廣島さん、大会参加者の吉田さんと連携して、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDによる電気ショックを実施しました。その結果、救急隊到着時には心拍、自発呼吸が再開していました。

この3名の素早い行動と見事な連携に署長より感謝状を贈呈しました。（瀬川）



生野
IKUNO

商店街で火災予防実施

12月19日、桃谷駅前商店街において歳末警戒に伴う広報活動及びアーケードを使用した訓練を実施した。訓練では消防用梯子を使用し、アーケード上への資器材搬送訓練及びホース延長訓練を行うなど、商店街の施設を使用し、とても有意義なものとなった。

さらに市民と一体となる訓練、広報活動を通じて、消防に興味をもっていただき、火災予防の普及啓発に繋げていきます。(池添)




東淀川
HIGASHIYODOGAWA

「はてにゃん。」も防災啓発活動

12月1日、管内の大阪経済大学において開催された防災イベント「OSAKA5GO! WALK」に当署も参加した。イベントは巨大地震等の大規模災害発生時に帰宅困難となった場合に備えて区内一円20kmを歩く防災ウォークを中心に避難所開設訓練の他、防災に関するブース展示等が行われた。

当署からは、起震車による地震体験を中心に災害への備え等について、同大学マスコットキャラクター「はてにゃん。」にも協力をいただき普及啓発活動を行った。(宮本)



旭
ASAHI

消防署開放デー

11月10日、当署において「消防署開放デー」を開催したところ、天候にも恵まれ、沢山の市民の方々が来られ、煙中体験やロープ渡過など様々なイベントを市民の方々に体験していただいた。

中でも一番人気があったのは、消防車との綱引きで、子どもたちが力を合わせて綱を引く姿は微笑ましく笑顔が絶えませんでした。普段なかなかできない体験や消防隊の火災・救助訓練の様子に感心や驚きの声があがり、皆様の楽しい思い出になるとともに、火災予防につながりました。(藤原)



東成
HIGASHINARI

合同歳末警戒部隊発足式

11月30日、当署講堂において東成警察署・東成消防署合同の歳末警戒部隊発足式が実施された。両署員約40名が参加し、通常・特別点検の後、駅構内において催眠ガスが散布されたという想定で、救護活動並びに被疑者逮捕など一連の流れで訓練が披露された。

これからも東成区の安心・安全を守るため、警察・消防ともに協力し市民の信頼に応えていきたい。(岡部)



阿倍野
ABENO

防災の最新兵器!!

12月とは思えない陽気に加え快晴のなか、まちなか防災訓練が阪南小学校で実施された。

段ボールを活用したベッド作成、車椅子体験、心肺蘇生、可搬式ポンプなどの各訓練ブースに加え、今注目の「ドローン」の体験コーナーが初めて設けられた。





昨年、多発した自然災害の被害状況把握などで威力を発揮し、防災活動に大きな成果が期待されている「ドローン」。

阿倍野区でも防災意識が高まるなか、最新兵器への注目、期待が大きくなっていることを感じる1日となった。(尾﨑)

城東
JOTO

小さなことからコツコツと!

12月11日に署内意見発表会を開催した。職員それぞれが平素の仕事で感じている意見を発表し、中でも一際、熱い想いを語った、勤続年数13年の清水司令補。

自身の職場での経験を基に、迫真の演技とユーモアを交えた「小さなことからコツコツと!」が、日々の業務や訓練からどんな小さなことでも真面目に取り組むことが、やがて大きな成長に繋がることを教えられた素晴らしい発表でした。(吉本)



住之江
SUMINOE

女性パワー全開

11月9日に第2回目となる住之江区女性防火クラブ消火技術発表会が行われた。発表会の内容は4名1組で、水消火器による消火訓練と、三角巾による応急手当訓練の2種目。雨の中での発表会であったが、12支部48名の参加があり女性パワーを感じる賑やかな、楽しい発表会となった。

この発表会を通して、家庭からの出火防止、防火防災知識の普及啓発に努めるとともに「災害の無い町・災害に強い町」をめざし、さらに活動していただきたいと感じた。(田中)



鶴見
TSURUMI

一刻を争う命を救える人に

去る12月6日、鶴見南小学校において授業時間1限を使用した応急手当講習「救命入門コース」を実施した。DVDで救命処置を学び、「あっぱくん」を使用して全員が胸骨圧迫を実践してくれました。そこには、子どもたちが一生懸命に命を救う手技を学ぶ姿がありました。

心肺停止の傷病者に対する一番の失敗は「行動を起こさないこと」。この講習で子どもたちに一刻を争う命を救うための勇気と知識が少しでも身についてくれたら幸いです。(犬塚)



平野
HIRANO

新人教育

消防署での実務教育は仕事の中で学ぶ実践が基本になります。それゆえ、一つ一つの災害現場が消防士としての大きな経験、知識となるはずです。

新人教育にあたり教育する側もされる側も同じ、信頼関係を築く事が一番に必要です。コミュニケーションが築けないでいると、教育どころかハラスメント等、トラブル発生につながります。

良き上司、先輩を手本に学び教えられた事を思い出し、自分自身が基礎、基本に回帰し、共に成長できる教育を実践していきます。(土生)



住吉
SUMIYOSHI

Please　evacuate!!

6月のG20大阪サミット開催を控え、住吉大社で消防訓練が実施されました。

職員の皆さんは多くの外国人観光客が参拝に訪れることを予想されており、今回は火災発生の想定で、英語で記載されたフリップボードを活用しての避難誘導や、放水銃を使用した訓練が行われました。

言葉の壁を越えて参拝者の命を守るため、皆さんが真剣な顔つきで訓練に取り組む姿勢はとても頼もしく感じました。(伏見)



西成
NISHINARI

第7回イマナリエ点灯式に出展

12月7日、もと今宮小学校グランドにおいて今宮ふれあい地域活動協議会・イマナリエ実行委員会の主催で地域の方々、地域内各団体、企業、行政が参加し「第7回イマナリエ点灯式」が開催されました。

当署も当協議会協賛で職員が作成した「たばこポイ捨てあきまへんで!」のイルミネーションを展示して頂いた。

暗闇の中一斉に点灯するとたちまち今宮地域は色鮮やかな光の世界に変わり、1月中旬まで訪れた方々に予防広報します。(髙田)



東住吉
HIGASHISUMIYOSHI

親子サロン「防火・防災・救急講話」

本年度、各連合で行われている親子サロンに出向き、講話を行った。

子育て世代に対して火災予防の心得や地震・台風時の避難場所を再確認してもらうと同時に、乳幼児の突発的な事故発生時の処置などの広報を実施した。

「この町に私は住んでいて、小さい子どもがいます」と近所の人に知ってもらうことが防災の第一歩となることを踏まえ、地域行事への参加、特に防災訓練への参加を強く促す説明を行った。(岡)



環状線 番外編



中央
CHUO

つながる奇跡、『救命の連鎖』

平成30年9月。Osaka Metroの電車内で心肺停止になった男性に、2名の乗客と2名の駅係員が協力して救命処置を実施し、命を救いました。

実は今回の事案、乗客の西山さんが、地下鉄横堤駅で心肺停止の男性を救命したことに対して、鶴見消防署で感謝状を贈呈された帰り道の地下鉄大阪ビジネスパーク駅での出来事だったのです!

当署での感謝状贈呈式にお越しいただいた3人の方にお話を伺いました。

【西山　浩さん:乗客、セコムジャスティック㈱ご勤務】

「電車がなかなか発車せず、感謝状を持ったまま確認に行くと倒れている男性を発見し、夢中で胸骨圧迫を行いました。体力には自信があるのですが、前回も今回も緊張で思った以上に消耗しました。自分の身内を助けるような気持ちで挑めたことはとても良かったと思います」

【藤本　政治さん:乗客、セコムジャスティック㈱ご勤務】

「かなり下層にある駅でしたので、長いエスカレーター2本分を駅長室まで懸命に駆け上がりました。今回はAEDが『電気ショック必要なし』と判定していたので最悪のケースも頭をよぎりましたが、助かったと連絡を受けた時は言葉で表せない程嬉しかったです。あの時一歩踏み出せて、本当に良かったです」

【多々見　修一さん:Osaka Metro駅係員】

「胸骨圧迫が体力的に大変なことを知っていたので、先に実施してくれていた西山さんに交代を申し出て連携をとりました。応急手当普及員資格を持っていますが、実際の現場は普段感じることのない緊張感でした。救命講習を受講したことが無い方、ぜひ受講してください。時間が経っても頭に残ることが必ずあります」

(上記3名のほか、Osaka Metro駅係員の井上正和さんも感謝状を受けられました)

(川勝)



摂津市消防本部

秋の火災予防運動期間中に一人暮らしの高齢者宅への防火診断を実施



摂津市消防本部では毎年、秋の火災予防運動期間中に火災予防思想の一層の普及を図り、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるため、一人暮らしの高齢者を対象とした防火診断を実施しています。

この取組みは、消防職員のほか、大阪ガス株式会社、関西電力株式会社、摂津市社会福祉協議会の職員にも訪問員として参加していただき、訪問時には各分野の専門的な視点から防火・防災に関するアドバイスをすることで訪問先のみなさんには例年、満足していただいています。

また、昨年は地震、豪雨そして台風と度重なった自然災害による恐怖感、不安感が残る中での防火診断となりましたが、訪問員による防火診断を受けることで少しは安心していただいたように思いました。

今後も防火診断を継続的に実施し、安全・安心を感じてもらえるような取組みにしていきたいと考えています。

交野市消防本部

敬老の日に高齢者宅への防火診断を実施



交野市消防本部では、平成30年9月17日(月)敬老の日に高齢者宅への防火診断を実施しました。住宅火災の死者のうち約7割の方が高齢者であることから、火災の未然防止や被害の軽減を目的に、交野市としては初の試みではありましたが、地元消防団や女性団員と連携して、地域ごとに抽出した65歳以上の高齢者を対象にお伺いしました。

今年度は、自然災害の脅威に晒された災害の年でありましたので、住宅防火診断としてだけでなく、高齢者のもとへ消防吏員・消防団員が伺い、お話を聞くということだけでも大変喜ばれ、とても良い時間であったと感謝の言葉をいただきました。

交野市消防本部では今年度中にもう1回、そして来年度以降も継続的に実施していく予定です。これからも市民の安心・安全の確保と災害に強い街づくりに努力してまいります。

河内長野市消防本部

救命技術向上を目指して



河内長野市消防本部では、救急救命技術の向上を目指して、救急救命士・専任救急隊員はもちろん救急業務に携わる全ての職員を対象として、それぞれの職務に合わせた研修を大阪府の教育ガイドラインに沿って計画的に行っています。

研修は指導救命士が主体となって企画立案及び評価を実施しており、11月には専任救急隊を対象に内因性ショックを想定した総合救急シミュレーション訓練を完全ブラインド形式で実施しました。訓練後の意見交換会では指導救命士や見学者から活発な意見の交換がありました。

この他にも年間を通じて症例検討会を実施しています。また兼任救急隊員には基本手技訓練や想定訓練、指令管制員には口頭指導要領やDrカー及びヘリの要請を含む緊急度・重症度識別訓練等を行っています。

今後もこの研修をより一層充実させ、救急活動に携わる全ての職員の救命技術向上を図れるよう努めていきます。

泉州南消防組合泉州南広域消防本部

消防指令センターでの研修を実施！



泉州南広域消防本部警防部指揮司令課では消防指令センターにおいて「現場指揮者研修会」を実施しました。

この研修会は、消防指令センターが発足し、まもなく3年が経過する中、消防指令センター側と現場隊側との更なる連携強化を最重要課題としており、昨年は災害現場において中隊長にあたる課長級の職員を対象として実施しましたが、今年は円滑な世代交代も視野に入れ、小隊長又は分隊長にあたる課長代理級の職員を対象として実施しました。

研修内容は、出動計画表に基づく車両順位、隊編成の考え方、無線交信要領等、消防活動に関する様々な項目についての座学を実施後、消防指令センターの視察も兼ねた意見交換会を併せて実施することができ、大変有意義な研修となりました。

今後もこのような研修を通じて、知識、技術の向上及び災害現場での連携活動の体制強化をより一層図り、災害対応能力の向上に努めてまいります。

職務

1

平成30年度 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 大阪府大隊

司令課

はじめに

緊急消防援助隊とは、平成7年阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成7年6月に創設されました。

近畿ブロック合同訓練とは、全国を①北海道・東北、②関東、③中部、④近畿、⑤中国・四国、⑥九州の6ブロックに区分して、一つの都道府県が被災したことを想定して、基本計画に基づく近隣都道府県を中心とした出動計画を検証するため、また緊急消防援助隊の技術向上及び連携活動能力の向上を図るため、近畿ブロック2府7県(福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県)で合同訓練を毎年1回実施しており、今年で23回目になります。



集結場所の様子

開催概要

訓練実施日
平成30年11月9日(金)9時00分～11月10日(土)12時30分

訓練会場
福井県坂井市
テクノポート
福井主訓練会場他

訓練概要
福井県嶺北地方を震源とする大規模地震が発生したとの想定

参加機関

消防機関	自衛隊 海上保安庁
警察機関	DMAT等
	約1,100名
大阪府参加隊	
	1機22隊103名
大阪市消防局航空隊	1機4名
大阪市消防局指揮支援隊	
	1隊6名
堺市消防局指揮支援隊	
	1隊5名
大阪府大隊(16消防本部)	
	20隊88名

部隊出動

緊急消防援助隊の出動から被災地(訓練会場)までの流れは、各消防本部から出動した小隊が、大阪府内の定められた場所に集結します。今回は、万博公園東駐車場に集結し、各小隊の集結を確認したのち、出動ルートや燃料補給するサービスエリア等の確認や情報共有を行ってから、進出拠点(被災都道府県内の一時的な進出の目標とする拠点)へ向けて出動します。進出拠点に到着すれば、活動を行う被災場所の指示を受けて、移動したのち活動を開始します。この部隊出動については、長距離を迅速に被災地まで到着するという参集訓練を兼ねて実施しました。

平成30年7月豪雨災害の部隊出動において、斜面崩落等により道路が通行できず、部隊単位で引き返し到着までに時間を要したこともあり、今回の訓練では先遣隊を活用した検証を行いました。その結果、道路状況やサービスエリアの駐車状況及びガソリンスタンドの状況を後続隊へ情報提供することで、他の府県大隊等で混雑しているサービスエリアを避けたり、一般道において部隊が集まれる場所を探したりと、先遣隊の有効性を確認できました。

また全国地図を搭載した車載端末装置(ANSIN)により位置情報を把握できるか検証を行い、自動的に車両の位置情報を把握することで、電話やメールにより隊員の報告作業の軽減を図ることができ実派遣時にも活用できることが確認

できました。

部隊運用訓練

1日目の訓練は進出拠点での指示により永平寺会場において、多重衝突事故救出訓練を実施しました。

訓練開始時に大雨が降りだし、実災害さながらの緊張感のなか、負傷者の救助活動や救急活動等を行いました。訓練当日に初めて顔を合わせる隊員同士の中、各隊が連携を図り、また各消防本部の資機材を有効活用し、負傷者を励ましながら、要救助者8名全員を救出しています。

2日目の訓練はテクノポート福井主訓練会場において、トンネル崩落事故救出訓練を実施しました。

救出活動中に余震による警報音が鳴動すると、各小隊長が笛を吹き、全員に周知を行っており、昨日よりも隊員間の連帯感が強くなっているように感じました。隊員が「絶対助けるからな」と大きな声を発したことで、より一層大阪府大隊がまとまり一丸となって要救助者18名全員を救出しています。

また、現地合同調整所において、消防と警察の進入経路や活動エリアを区分したことにより活動がスムーズに行うことができ、他機関との連携を密にしていました。


多重衝突事故救出訓練の様子


トンネル崩落事故救出訓練の様子

後方支援活動

後方支援活動について、初めての参加者が多い中、経験豊富な隊員が率先して指示を出し、デコンタミネーション、食事エリア、エアーテントなどのレイアウトを決め、活動を終えた隊員に配慮した導線を設定していました。

今回の訓練では、初めて女性隊員が大阪府大隊の後方支援として参加しました。これは昨年度から女性隊員派遣の検討会議を行っており、平成30年豪雨災害の際には女性隊員が現地視察を行い、派遣を見据えた課題を抽出し、その課題のうち一つは宿営場所における環境が挙げられ、男性隊員はエアーテント、女性隊員は支援Ⅰ型車両内と仮眠場所のエリア分けを検証しました。

訓練終了後のアンケート結果によると、男性隊員と女性隊員のエリア分けをすることにより、お互いに気を使うことなく活動ができたという意見があり、今回の検証訓練は今後の実派遣に反映できる内容でした。



女性隊員のミーティングの様子

おわりに

今回の訓練では、大阪府大隊として各小隊、各中隊が連携し一丸となって活動を行っていました。また警察と進入経路や活動エリアの調整を行うなど、関係機関との連携も図っていました。そのほか先遣隊の活用、車載端末装置の活用、女性隊員の宿営場所の検証を行い、平成30年7月豪雨災害での課題についての改善策等を本訓練において実施し、今後の実派遣に備えて大きな成果を得ることができました。

近い将来発生が予想される南海トラフ地震などの大規模災害発生時に、迅速かつ的確に連携活動や応援出動が取れるよう継続的な訓練に努めていきます。

（文責　坂田）

職務 2

予防課

予防部めぐり ～各担当からの情報発信～

予防部特別査察隊創設10年

特別査察隊

はじめに

「安全と安心を創造し、生産するプロ組織として、真に安心・安全なまちづくりに資する」という消防局の使命を果たすべく、平成20年11月1日、予防部に特別査察隊が創設され、本年で10年を迎えましたので、今回は創設当初のメンバーをはじめとする諸先輩方が使命感を持って積み上げてきた10年の活動を振返りたいと思います。

特別査察隊の発足

平成20年10月1日、死者16名、負傷者9名を出した大阪市浪速区の個室ビデオ店火災を契機として、当該火災発生から1ヶ月後、予防部に特別査察隊が創設されました。

この火災事案は複雑な建物構造に加え、消防用設備等のハード面に係る法令違反や消防訓練未実施等のソフト面である防火対策が疎かな対象物で火災が起これば、いくらスペシャリストの集まりである大阪市消防局の消防隊でも苦境を強いられることを痛感した火災でした。

二度とこのような災害の発生を繰り返さないために、人命危険のある対象物に対し糾察的に違反処理等を実施し、災害に強い安全な対象物にするという使命のもと活動を開始しました。

特別査察隊の活動

個室ビデオ店に対する緊急立入検査

個室ビデオ店火災の発生を受けて、各消防署において、火災発生当日の平成20年10月1日から10月2日までの2日間で、市内にある個室ビデオ店等（個室ビデオ店、カラオケボックス、複合カフェ、テレクラ）344店舗に対し緊急立入検査を実施したところ、約7割の店舗に何らかの消防法上の不備があることが判明しました。これらの店舗に対しては、各消防署と一体となって違反処理を実施するなど是正を強力に推進した結果、平成21年8月31日、全ての店舗の消防法令違反が是正されました。

特定防火対象物に対する強力な是正

平成21年11月からは特定防火対象物について、自主防火管理体制の確立に不可欠な防火管理者未選任対象物及び自動火災報知設備未設置対象物を人命危険に直結する重大な違反と捉え、これらを最優先のターゲットとして違反是正を実施し、更なる違反対象物の削減を目指して特定防火対象物における消防用設備等未設置対象物への徹底した違反是正に取り組みました。この時期は消防用設備等未設置対象物に対して積極的に違反処理を実施したことで、各署の予防担当者に違反処理が浸透するきっかけとなりました。

違反是正強力推進対象物に対する徹底した是正指導

平成27年度からは、特定防火対象物のうち屋内消火栓設備・スプリンクラー設備・自動火災報知設備の未設置対象物及び重大違反対象物を違反是正強力推進対象物と位置づけ、消防署と特別査察隊が一体となって違反処理を前提とした是正指導を計画的に進め

る取組を始めています。

この取組みは、違反発生年度の古い長期違反対象物の中から悪質な対象物を20件ほど選定し、対象物がある管轄署と特別査察隊に担当者を定め、原則、年度内に是正させるという取組です。年度内で是正するために是正計画を定めて、適切な時期に違反処理を実施するなど進捗管理の徹底を図ることで、昨年度までに60対象物に対して是正指導を行い、57対象物を是正させました。

市域協力型合同立入検査

従来から小規模雑居ビルの集中する繁華街を指定し、所轄署、他の消防署及び特別査察隊の職員を投入して、集中的な夜間の合同立入検査を実施してきました。この合同立入検査は対象物の関係者に対して無通告で実施するため、避難施設に多数の物品が存置されている対象物が多く、その日だけで警告件数が30件を超えることもありました。この合同立入検査の効果としては、対象物の関係者に夜間であろうと消防は目を光らせているという緊張感を与えることができる一方で、違反処理に不慣れな職員にとって目の前にある危険に対して、躊躇なく是正させる意識付けを行う貴重な育成の場ともなっています。

新たな消防法令違反を生じさせない取組み

新たな消防法令違反の多くは、テナントの入替えや建物の増改築に伴い発生しています。平成26年度からテナントの入居や建物を増改築する際には消防署への事前相談や防火対象物使用開始(変更)届出書の提出が必要であることを建物関係者に周知し、新たな消防法令違反を抑制する取組みを始めました。

取組みの内容は、テナントの入居や建物の増改築に係わる不動産、建築、飲食店の業界団体や新規店舗開業者への資金融資等を行っている企業に対して、違反が発生する仕組みとその抑止についてを周知するため、当該団体の会員や関係者に啓発チラシを配布する等を依頼しています。

また、今年度からは定期立入検査を実施した際、建物所有者等の関係者に対して啓発チラシを配布するよう各署に依頼し、更なる啓発活動を行うことで、消防法令違反の抑制を図っています。

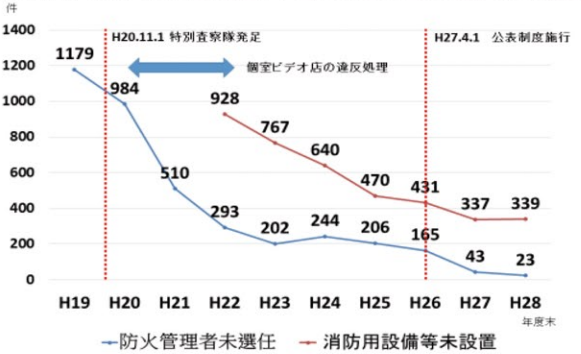
これまでの活動の成果

特別査察隊が予防部に設置されてからこの10年間、消防法令等の違反があり人命危険の高い対象物にターゲットを絞り、各署と協力しながら違反是正を強力に推進してきました。また、違反処理が必要な際には各署に技術支援を行うことにより、長期違反対象物を是正させるだけでなく、消防局全体の違反処理の推進やレベルアップに努めてきました。その成果として、特定防火対象物の防火管理者未選任対象物及び消防用設備等未設置対象物を低減させてきました。(別表を参照)

しかしながら、毎年のように新たな消防法令違反対象物が発生することで、市内には人命危険の高い対象物が生まれています。そのような対象物が存する限り、特別査察隊のすべての隊員が創設当初の使命感を忘れることなく、〝**違反是正**〟を第一優先の業務として邁進し、大阪市の予防行政にとどまらず、全国の予防行政をけん引していきたいと思っています。再び特別査察隊が創設するきっかけとなった凄惨な火災を2度と起こさないために。

(文責　山口)

特定防火対象物の防火管理者未選任・消防用設備等未設置対象物の推移



別表

職務

3

第6回大阪府下警防技術指導会

大阪府下消防長会

はじめに

本指導会は、警防技術の向上を図るとともに、府内各消防本部の消防隊が技術的交流を深めることにより、車両や装備、戦術の違いを把握し、大阪府下広域災害応援や緊急消防援助隊派遣等の際に、互いの活動を理解し、円滑な活動体制を構築していくことを目的としている。

このような、府内すべての消防本部が警防技術を競い合う指導会は、全国的にも類を見ない取り組みであり、今回で6回目の開催となった。



開催概要

開催日時
平成30年11月27日(火)
9時00分～13時30分

開催場所
大阪市消防局
高度専門教育訓練センター
東大阪市三島2―5―43

指導会次第
開会式
開会宣言
人員・機械報告
大阪府下消防長会会長あいさつ
最優秀旗返還
審判長指示
訓練
警防技術指導会
合同訓練
閉会式
成績発表
表彰式
訓練講評
閉会宣言

出場人員・機械

警防技術指導会
出場人員
各消防本部　1隊4名
26消防本部　104名
※専任救助隊員として任命されている者は除く。
※実務経験5年以下の職員を1名以上出場させる。
出場機械
各消防本部において、消火隊用として運用している消防車両とする。
訓練実施車両　26台

合同訓練
出場人員
府内9消防本部11隊38名
出場機械等
指揮隊　豊中市消防局
消火小隊
枚方寝屋川消防組合消防本部、松原市消防本部、茨木市消防本部、堺市消防局、大阪市消防局
特殊装備小隊
泉州南消防組合泉州南広域消防本部(はしご車)、大阪市消防局(はしご車)、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部(水槽車)、東大阪市消防局(水槽車)
その他



大阪市消防局（無人航空機ドローン）

主催　大阪府下消防長会

訓練概要

警防技術指導会

「木造2階建て一般住宅の2階1室10㎡燃焼中、要救助者1名あり」の火災想定として消防車両1台4名で消火・救助活動を実施。車両及び積載品・防火衣等の事前審査を受けた後訓練を開始する。訓練出場指令を受け防火衣の着装から始まり、車両走行を行った後、



停車位置からホースを延長し、地上から2階の開口部に見立てた標的に放水を行う。その後、2階ベランダに三連はしごを架ていし、取り残された要救助者を地上へ救出する。続いて、ベランダ上から開口部の火力を制圧後、呼吸器面体を着装して室内へ進入し、3か所ある炎に見立てた標的を放水によりすべて落とし訓練終了となる。

※審査は、事前審査・車両運行等審査・行動審査1・行動審査2・無線審査・時間審査（各100点満点）

合同訓練

大規模地震発生時における「木造建物火災」と「耐火建物火災」の複合した火災を想定し、訓練実施11隊が連携して消火活動を実施。地震で消火栓等が使用できない状況を想定して、消火小隊は水槽車や遠距離大量送水システムにより継続した水利を確保し、延焼阻止や包囲体制の確立、屋内進入等基本的な消火戦術を実施した。また、耐火建物上階に取り残された要救助者に対して、はしご車による救出活動を並行して実施し、それら消防部隊の活動及び火災の状況確認として、無人航空機（ドローン）が上空から情報収集にあたった。

警防技術指導会結果

最優秀隊　箕面市消防本部
優秀隊　岸和田市消防本部
優秀隊　和泉市消防本部
入賞　上記以外の全出場消防本部（局）



おわりに

本指導会も6回目を迎え、各消防本部の指導会に対する「熱」は、年々高まってきているように感じられる。指導会に向けた訓練期間中は、各消防本部とも一体となって取り組んでおり、職員の人材育成にも大いに効果的であるとの声を聞く。また、自消防本部の強化を行う一方で、府内の各消防本部が一堂に会し、訓練を実施することにより「顔の見える関係」がより強固なものになっている。

G20大阪サミットやラグビーワールドカップの開催、また、今後は大阪万博等が控えており、さらに、近年各地で大規模災害が発生していることからも、この指導会が府内消防本部の一層の連携強化に繋がることを期待する。



職務 4

第21回全国消防救助シンポジウム

警防課

全国消防救助シンポジウムは、全国の消防救助隊員、消防学校関係者、都道府県消防防災関係者等を対象とし、救助技術の研究開発及び消防活動事例の発表や意見交換を行うことにより、救助技術の向上及び救助隊員相互の交流と親睦を深め、我が国における救助体制の一層の充実を図ることを目的に開催され、今回で21回目を迎えました。

「救助活動事例の教訓を踏まえ検証した効果的な救助手法」というテーマで、全国から多数の発表応募があり、その中から、当局、警防部警防課本部特別高度救助隊員の応募が選ばれ、発表を行いました。

開催概要

開 催 日　平成30年11月26日(月)
場　　所　東京都　「響きの森文京公会堂」
発表題目　NBC災害対策について～G20サミット等広域災害応援を見据えて～
発 表 者　警防部警防課　本部特別高度救助隊　消防司令補　工藤　徹也
　　消防司令補　藤枝　宏幸

発表要旨

近年、世界各地で多様な形態のテロが頻発しており、日本国内においても、ＮＢＣ災害や爆弾テロ災害等の特殊災害（以下「特殊災害」という）の発生が懸念されています。

一方、特殊災害に対する消防活動対策については、より一層の効率的かつ効果的な消防活動体制作りが急務であると考えます。そのような中、当局では、2019年６月に大阪府で開催されるG20大阪サミットの成功に向けて、消防活動に万全を期す必要があり、また、以降も続く国内大規模イベント開催に伴う特殊災害時の広域応援の体制整備に寄与できるものが必要だと考えます。

そこで、当局におけるＮＢＣ災害事例等から抽出した「２つの課題と対策」及び「当局開発の有毒ガス除去装置の実践」を紹介します。

今後の国内大規模イベント
G20 大阪サミット
ラグビーワールドカップ
オリンピック・パラリンピック
↓
特殊災害発生が懸念
↓
効果的な特殊災害対策が急務

◆ 課題と対策１
「ＮＢＣ任務カードによる指揮統制（ＩＣＳインシデント・コマンド・システム）」
◆ 課題と対策２
「ＮＢＣ災害における熱中症対策」
◆ 事例紹介
「当局開発の有毒ガス除去装置の実践」

当局におけるＮＢＣ災害体制について

当局のＮＢＣ災害出場体制について

①特殊災害限定出場
硫化水素ガスに係るもの又は、異臭等で覚知段階において原因物質を特定しがたく、ＮＢＣ災害の疑いがある場合に７隊の部隊が出場します。

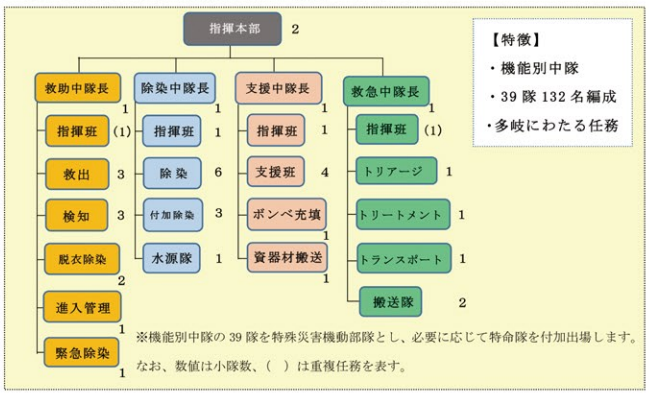
②特殊災害特別出場
ＮＢＣ災害であると判断される場合で大隊指揮体制により総合的に対応する必要がある場合に機能別の中隊編成で 39 隊が出場します。

当局のＮＢＣ災害活動の流れ

一次集結 39 隊
（風上側、120m）
→ 先遣活動（３隊のみ）
進入統制ライン設定
→ 39 隊（36 隊合流）
組織的活動

※なお、特殊災害限定出場から特殊災害特別出場に移行する場合は、７隊（指揮隊２、救助隊２、化学災害救助隊１、消火隊１、救急隊１）に加え、32 隊が出場します。

当局のＮＢＣ災害部隊編成について



課題と対策１「ＮＢＣ任務カードによる指揮統制（ＩＣＳ）」について

実災害事例から生まれた課題

特殊災害特別出場時には、39隊132名の大規模な部隊が編成され、その任務数は20種以上にも及びます。また、災害現場への直近部隊編成を主としていることから、その都度、指定される任務が違います。(指定される任務は、１小隊で最大８種類)

当局において平成20年～24年に発生した特殊災害特別出場では、任務把握や指揮命令系統、活動範囲や防護レベル等の共通認識不足が見受けられ、改めて「ＮＢＣ災害における指揮統制の構築」が課題となりました。

対策として「ＮＢＣ任務カード」の考案に至った経緯

ＮＢＣ災害における指揮統制を構築するため、米国で開発されたＩＣＳ(インシデントコマンドシステム)に着目しました。

ＩＣＳとは、あらゆる災害対応において組織の運用を標準化したマネジメント体型であり、日本では緊急時総合調整システムと呼ばれています。

当局におけるＮＢＣ災害の課題とＩＣＳを比較検討した結果、平成24年に「ＮＢＣ任務カード」の考案に至りました。

ＮＢＣ任務カードの検証

検証は、概ね150時間／年に及ぶ訓練等を通じて行いました。その結果、ＮＢＣ災害活動に対する共通認識の徹底が図れるとともに、指揮統制の向上が顕著にあらわれ、平成25年には当局のＮＢＣ災害活動要領として導入に至りました。

(43ページに続く)

【当局におけるＮＢＣ災害の課題】
➢指揮命令系統、任務把握
➢救出・除染導線の共有
➢エリアイメージの共有
➢活動範囲、防護レベル等
→ **指揮統制の構築**

比較検討

【ＩＣＳの要点】
➢現場指揮（災害現場での指揮について）
➢指揮統制と調整（軍隊のような指示・命令・統制）
➢指揮一元化（報告する上司は一人）
➢統制範囲の把握（効果的な監督は５人以下が望ましい）
➢災害対策本部の位置づけ（現場の活動を支援・調整）
➢共通状況図（現場と災害対策本部が共有）など

そこで

大阪市消防局独自のＮＢＣ任務カードを考案

ＮＢＣ任務カードの活用

　ＮＢＣ任務カードの特徴は、２分以内での確認を目安とし、Ａ４の表裏の１枚としています。

ＮＢＣ任務カードの主な記載内容

- 指揮統制、指揮命令系統
- 任務別の活動要領、活動区域、防護レベル、無線ＣＨ
- 一次集結から組織的活動までのＮＢＣ災害活動の全体図
- 任務に応じた活動導線（救出・除染等）等

ＮＢＣ任務カードの効果

　ＮＢＣ任務カードの効果は、指揮体制の構築のほか、意思統一が図りやすく、指揮統制の水準を容易に維持できます。

ＮＢＣ任務カードの効果

1　ＮＢＣ災害における指揮統制の確立
2　隊員ローテーションが生じても容易に意思統一が図れる。
3　ＮＢＣ災害研修及び訓練効率の向上
4　広域災害応援等における混合部隊編成時のＮＢＣ任務カードへの応用
5　他機関との統合指揮用のＮＢＣ任務カードへの応用

Ｇ20大阪サミットＮＢＣ災害対策や広域災害応援を見据えて

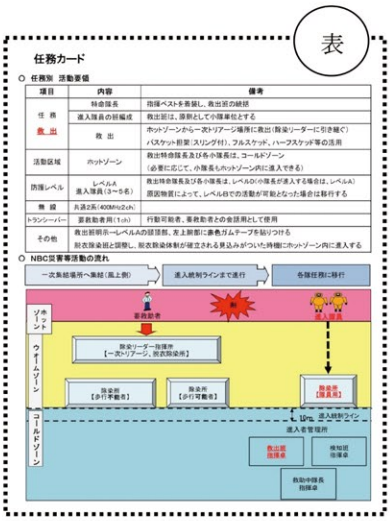
　来年の６月に大阪府で開催されるＧ20大阪サミットでは、発生が懸念されている大規模なＮＢＣ災害への備えが必須となります。

　消防の責務に万全を期すために、Ｇ20大阪サミット用ＮＢＣ任務カードを作成し活用することで、円滑な指揮統制が確立できると考えます。

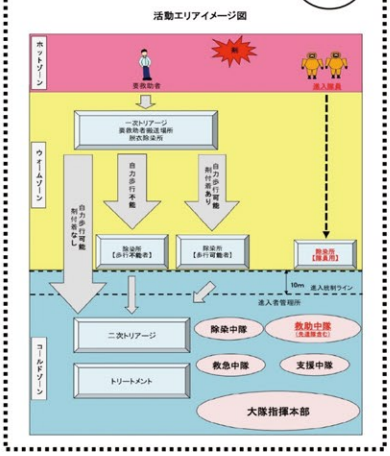
ＮＢＣ任務カード（例示：救出班）

※全任務に応じたＮＢＣ任務カードをフォーマット化しています。

表



裏



課題と対策２　「ＮＢＣ災害における熱中症対策」

近年における熱環境の課題について

　地球温暖化に対する懸念が強まる中、気象庁では、今年の7月に「命に危険を及ぼすレベルで災害と認識」としています。

　ＮＢＣ災害では、化学防護服によるヒートストレスを強いられることから、活動隊員の活動効率が低下し、熱中症になれば救助活動の停滞が懸念されます。

検証訓練

　近年、エアコンの使用できない環境の作業員に多用されている「空調服」に着目し、小型扇風機による気化熱での身体冷却を目的に検証しました。

実施時期　平成３０年８月中
環境　気温２７～３０℃　湿度５０～７０％
検証項目　階段歩行運動１０分後の隊員の体温上昇、隊員の体感評価（５良い～１悪い）



	衣類	Ｔシャツ（ポリ）	Ｔシャツ（綿）	救助服上衣
クールベスト及び小型扇風機**無し**	体温上昇	1.7℃	1.8℃	1.9℃
	体感	3	2	1
クールベスト（直接冷却）	体温上昇	1.6℃	1.7℃	1.8℃
	体感	4	3	2
小型扇風機（気化熱）	体温上昇	1.6℃	1.7℃	1.8℃
	体感	4	3	2
クールベスト及び小型扇風機**使用**	体温上昇	1.5℃	1.6℃	1.7℃
	体感	5	4	3

【衣類（３種類）】
Ｔシャツ（ポリエステル及び綿）、救助服上衣

また、陽圧型化学防護服着用時の、衣類及び身体冷却資器材使用による体温変化及び隊員の体感についても検証を行いました。

【検証結果】

ポリエステル製素材のＴシャツと、クールベスト及び小型扇風機を使用した状態が最も体温上昇を抑えられ、体感の評価も高くなりました。

小型扇風機については、一定の効果は確認できましたが、引き続き検証が必要で、防護服内での衣類についても、救助服を必ず着用するという、これまでの慣例に囚われる事無く、通気性・熱拡散効率の高い、統一したシャツ等着用の検討も必要だと思慮します。

事例紹介　「当局開発の有毒ガス除去装置の実践」

有毒ガス除去装置について

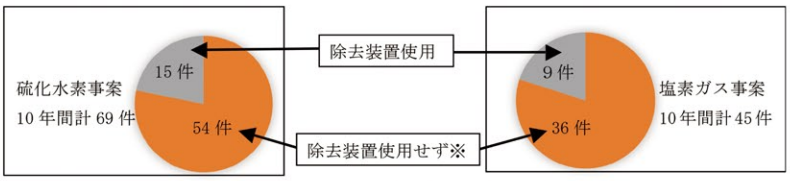
平成20年当時、硫化水素事案が急増しており、当局管内においても、多数の死傷者が発生していたため、効率的に硫化水素を除去する装置※１を開発しました。平成23年には、より危険性の高い塩素ガスに対応する塩素ガス用カートリッジ※２を開発しました。

※１は平成20年度、※２は平成23年度の全国消防協会「消防機器の改良・開発及び消防に関する論文」（機器の部）最優秀賞。

硫化水素除去装置及び塩素ガスカートリッジ使用実績及び効果

当局が開発した、有毒ガス除去装置及び塩素ガス用カートリッジは、除去装置を必要とした災害現場では、全てにおいて０ppmまで除去し、効率的な救助活動が実施できています。

※除去装置を未使用事案は、誤報や外気換気等で除去装置を使用の必要性が無かったもの。



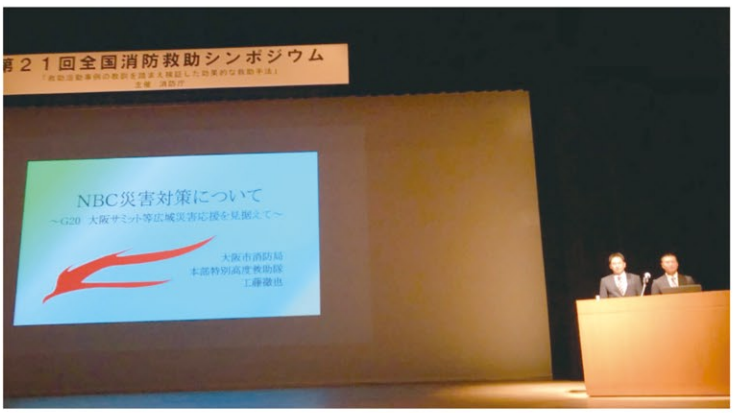
※除去装置を未使用事案は、誤報や外気換気等で除去装置を使用の必要性が無かったもの。

おわりに

各地で多様な形態のテロが頻発している国際情勢の中、当局においても、G20大阪サミットを控え、ＮＢＣ災害や爆弾テロ災害等の特殊災害の発生が懸念されています。

当局は、今までの研究の成果や災害現場での経験を活かし、G20大阪サミット以後も続く、国内の大規模イベント開催に伴う広域災害応援体制等の整備について全国の救助隊員に提案を行いました。

ひとたび発生すれば甚大な被害が発生する特殊災害に立ち向かうため、要救助者の「人命救助」を目指す、全国救助発展の一助となる発表でした。（文責　光山）



自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
中西　秀人

大規模災害が起きた場合にもテレビ放送を維持できるよう、地震や火災を想定した局舎の保全対策に腐心しております。自衛消防活動にも積極的に取り組んでまいります。



中央区　テレビ大阪株式会社

大阪城のほど近くに放送局を構えるテレビ大阪株式会社。昭和57年の開局以来、大阪の出来事を見つめ、そして伝え続けてこられた。同局のタコ焼きをモチーフとした愛くるしいキャラクター「たこるくん」と相棒の「タコベエ」は大阪人にはお馴染みです。

そんなテレビ大阪の自衛消防隊の売りは対応力の高さ。

テレビ局という特性から、多種多様な災害が発生する可能性を見据え、定期的に訓練を実施し、いざという時のスムーズな災害対応を日々追求しておられます。

当たり前の毎日が最高の贈り物。様々な事件事故を報道してきたテレビ局だからこそ強く感じる熱い想いを胸に抱き、今日も隊員の皆さんは災害対応力大阪一を目指し訓練に励まれています。





女性防火クラブだより

平野区

平成３０年１２月７日、「阪神淡路大震災記念・人と防災未来センター」で防災研修会を実施しました。

平成３０年は大阪市内の火災件数が減少傾向を示したものの、全国的には自然災害が猛威を振るい、近畿地方においても震度６弱の大阪府北部地震、台風２１号による暴風豪雨で家屋の大規模な損壊や人命被害が発生しました。研修では「防災・減災への対策」の重要性を改めて痛感した有意義な研修となりました。

近年、南海トラフ地震の予測脅威を耳にする中、災害時における「自助・共助・公助」の公助だけでは身を守れないと、地域コミュニケーションを基盤に自助力・共助力をより一層強化するため防災訓練を行い、災害に強く安心して暮らせる街づくりを目指す決意を新たにしました。



vol.163

健康ダイアリー

総務部 人事課

新型タバコだから大丈夫？

最近「加熱式非燃焼タバコ（以下、新型タバコ）」に注目が集まり、喫煙者の中には従来のいわゆるタバコと呼ばれる紙巻たばこから新型タバコへ切り替える人や、紙巻たばこと新型タバコをTPOに応じて使い分ける人も増えています。

この背景には、“無煙で有害性を90%低減”するとの情報から「紙巻たばこより新型タバコのほうが安全」、「禁煙できる」、「受動喫煙がない」など間違ったイメージの広がりがあります。

＜新型タバコの基礎知識＞

新型タバコは、使用する原料によって大きく3つに分類できます。

1 葉タバコを使用した製品：IQOS（アイコス）glo（グロー）PloomTECH（プルームテック）
2 ニコチン非配合リキッドを使用した製品：DR.VAPEなど
3 ニコチン配合リキッドを使用した製品：ニコチンB1-SOなど

日本で製造販売されている新型タバコは、1の葉タバコを使用した製品で、バッテリーで葉タバコを約300℃に加熱し、気化したニコチンを蒸気と一緒に吸煙する仕組みになっています。

火を使って燃やさないため、煙や臭いがほとんどなく、有害物質が多少軽減されています。



＜葉タバコを使用した新型タバコの特徴＞

- **ニコチン摂取量は、紙巻たばこの約8割程度**
  ただし、喫煙者はニコチンの血中濃度が一定に達し満足感が得られるまで吸煙するため、結果的に体内に摂取するニコチン量は、紙巻たばこと同じです。
- **新型タバコでもニコチン依存症を起こします。**
- **燃焼しないので、一酸化炭素についてはほとんど出ず、タール成分の発生は抑えられます。**
  ただし、ホルムアルデヒドなどの発がん性物質は紙巻たばこの7割程度含まれます。
- **新型タバコも紙巻たばこも国際的な扱いは同じ受動喫煙防止の規制対象**
  喫煙者の吐き出す呼気には、紙巻たばこと同程度のニコチンが含まれます。

＜新型タバコは、ほんとに大丈夫？＞

新型タバコの長期にわたる調査結果がないので、まだ確かなことはわかりません。でも、「たとえ有害物質やリスクが紙巻たばこの10分の1であるとしても、健康被害は免れない」という視点を忘れないことが大切です。

表彰（平成30年12月20日付け）

賞与

救急活動

住之江消防署
2部住之江第一救急隊
消防司令補　梅田　康介
消防士長　米津　友貴
消防士長　京田　陽貴

平成30年7月14日、住之江区の店舗で発生した救急事案において、心肺停止の傷病者を確認するとともに、直ちに胸骨圧迫及びＢＶＭによる人工呼吸を行い、除細動器による除細動を実施、迅速に車内収容するとともに、静脈路確保による薬剤投与、ＬＴＳによる気管挿管を行い、救急搬送中に自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。傷病者管理を適切に行い、早期に医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

阿倍野消防署
2部阿倍野第一救急隊
消防司令補　上田　宜克
（現：中央消防署）
消防士長　松尾　勇也
消防士長　関　治央

平成30年7月18日、天王寺区の一般住宅で発生した救急事案において、心肺停止の傷病者を確認するとともに、直ちに胸骨圧迫及びＢＶＭによる人工呼吸を行い、静脈路確保による薬剤投与を実施し、自己心拍の再開を確認した。車内収容時に再度心肺停止となるも、ＣＰＲを継続して行い、再度、自己心拍の再開を認め、病院到着時には呼吸及び脈拍も回復した状態で早期に医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

西淀川消防署
2部西淀川救急隊
消防司令　星野　仁
消防司令補　平岡　徹
消防士長　谷浦　康裕

平成30年9月2日、西淀川区の共同住宅で発生した救急事案において、家人により胸骨圧迫が行われている傷病者に対して、速やかに胸骨圧迫を引き継ぐとともに、除細動器による除細動を行い、ＢＶＭによる人工呼吸、気管挿管及び薬剤投与を実施し、救急搬送中には自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。傷病者管理を適切に行い、早期に医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

都島消防署
2部東野田救急隊
消防司令補　田中　武久
消防司令補　宮本　正孝
（現：消防司令　鶴見消防署）
消防士長　久篠慎太郎

2部東野田小型タンク小隊
消防司令　藤本　健一
消防司令補　中西　浩介
消防士長　松下　恭土
消防士　北村雄太朗

平成30年9月20日、中央区の地下鉄駅で発生した救急事案において、ホームに停車中の列車内で駅員及び乗客によりＡＥＤの装着及び胸骨圧迫が行われている傷病者に対して、速やかに胸骨圧迫を引き継ぐとともに、ＢＶＭによる人工呼吸及びバイスタンダーへ事故概要を聴取、迅速にホーム上へ移動させ、開口困難であったことから経鼻エアウェイによる気道確保を実施し、自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。地上までの長距離搬送中、継続して傷病者管理を行い、地上において再度心肺停止となるも、迅速にＣＰＲを再開して車内収容、薬剤投与を行い、救急搬送中には自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。傷病者管理を

適切に行い医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

中央消防署
2部道頓堀救急隊
消防司令補　齋藤　公一
消防士長　天丸　慎一郎
消防士長　松田　直樹
（現：北消防署）

2部中央小型タンク小隊
消防司令補　大野　泰伸
（現：北消防署）
消防司令補　村田　尚久
消防士長　永田　優樹
消防士　阪上　慎之助

平成30年9月21日、中央区の共同住宅で発生した救急事案において、先着の救命連携活動隊により胸骨圧迫が行われている傷病者に対して、ＢＶＭによる人工呼吸及び除細動器による除細動、ＬＴＳによる気管挿管及び薬剤投与を行い、自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。救命連携活動隊と協力して迅速に車内収容し、傷病者管理を適切に行い、早期に医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

非番日における救急活動

東住吉消防署
2部東住吉梯子小隊
消防士長　宮芝　紀幸

平成30年11月4日、大阪府貝塚市の農業庭園で発生した救急事案において、餅を喉に詰め心肺停止の傷病者に対し、速やかに胸骨圧迫及び１１９番通報の確認を行うとともに、同伴していた家族と協力して絶え間ないＣＰＲを継続し、自己心拍の再開、用手による気道確保により自発呼吸の再開を確認した。傷病者の観察を継続して行い、咳き込みによる体位変換を迅速に行い、餅を吐出させ、救急隊到着時には、会話できるまで回復するなど、迅速かつ的確に応急処置を実施した功績による。

賞詞

火災現場における救助活動

福島消防署
1部福島救助隊
消防司令　長田　俊幸
消防士長　木戸地　泰輔
消防士長　田中　聡
消防士長　永井　孝弥

此花消防署
1部此花特別救助隊
消防司令　米原　克律
消防司令補　長田　和也
消防士長　井山　竜太
消防士　長田　和也

平成30年9月24日、此花区の共同住宅の４階一室内で発生した火災現場において、強烈な熱気及び濃煙が充満する室内へ時機を失することなく進入し、熱画像直視カメラを活用して室内検索を行い、居室内で倒れていた要救助者を発見、救助隊２隊が連携し、迅速に玄関まで引きずり救出し、かかえ搬送により安全確実に地上まで救出した功績による。



大阪めぐり　表紙絵



大阪市消防出初式

大阪市消防出初式は、昭和２３年に自治体消防が発足した翌年に、西区西長堀川周辺において初めて実施して以来、毎年新春の恒例行事として開催しています。

昭和４１年からは桜宮公園（北区、都島区）周辺の大川に場所を変え、さらに平成１０年からは現在の住之江区南港北のアジア太平洋トレードセンター周辺で開催するとともに、以前は出初式とは別に開催していた「水上出初」も同時に実施することとなりました。


「澪標」放水

今年で７０回目となる消防出初式は、１月６日（日）に開催し、消防職員・市民１２４４人、消防車両５０台、消防艇４隻、消防ヘリコプター２機が参加し、「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」を目指す大阪市消防局の消防力と、平成３１年にかける決意並びに、日々鍛え培った消防技術を市民の皆様にご覧いただき、フィナーレの一斉放水では５色の色水で市章の「澪標」を模りました。

編集室



平成最後のお正月もあっという間、大寒も過ぎた。「年を取ると、年々月日の経つのが早くなる」、確かに子供の頃は、毎日ワクワクする事の連続だったようで、怒られようが怪我をしようが楽しい毎日だった。大学教授曰く、大人になると「ときめく事が無くなるから」には納得したが、19歳をピークにして、年々短く感じるようになるらしい……。

感動する事や心の機微に触れる事が少なくなり、初夢を見る事も無くなった。「一富士、二鷹、三茄子、四扇、五煙草」と縁起ものを、思い返してみても、これらの夢を見た記憶はない。

元来、物忘れが多く脳みそが笊のようだと思っているが、肝心なことではなく、どうでもいい事は覚えている。仕事には反映できないが、役に立つこともあるので、最近はプラス思考に考えるようにしている。

大伽藍浮かびあがりぬ初明り　（髙）



2月だけ、日数がなぜ少ない？由来は古代ローマに遡る。紀元前8世紀に使われた暦は、3月始まりで10か月（1月、2月は設定も名前も無し）しかなく、ローマも五穀豊穣が国の礎、農業活動のない1、2月は1年の終わりだけの認識だった。暦が変化し、1年の最後としての生い立ちからFebruary（罪滅ぼしの意味だそうだ）の名前を獲得するも、既存の月の既得権（日数）もあり、帳尻あわせ（うるう年を含め）の役回りになったとのこと。　（隆）



今年は元日から好天に恵まれ、いつもどおり一家揃って初詣に出かけた。

お賽銭に適した硬貨と適していない硬貨があるとテレビで言っていたらしい。よく『ご縁がありますように』で五円玉をよく使っているが、十円玉は『遠縁』を連想させ、五百円玉は『これ以上硬貨（効果）がない』ということで適していないらしい。年明け早々なかなか面白いトリビアを聞かせてもらった。　（正）

◇お詫びと訂正◇

1月号46ページに掲載致しました「表彰」の欄におきまして、受賞者の階級を間違えてしまいました。誠に申し訳ございません。

（誤）消防士長　山崎　玲名

←

（正）消防士

大阪消防

平成31年2月号　第70巻第2号　通巻第827号

発　　行　大阪消防清風会

企画・監修　大阪市消防局

編　　集　大阪市消防局企画部企画課内
大阪消防編集部
〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
ＴＥＬ　06-4393-6036
ＦＡＸ　06-6582-2864
Eメール　taka-yamano@city.osaka.lg.jp

年間購読料　年間 4,560 円
（消費税・送本手数料含む）

制作・販売　株式会社サイネックス

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

FIRE FIGHTER T シャツ 販売開始！



JAPAN FIRE RESCUE
左胸デザイン

ウェアの特徴

速乾性に優れたメッシュ素材

抜群の吸水性と速乾性。
綿の2倍以上の速乾性能があります。

肌を守るUVカット（遮蔽率90%）

大阪消防振興協会　検索

http://www.ossk-bousaishop.ocnk.net/

詳しくは
当協会ホームページをご覧下さい。

この他防災用品、消防グッズ、消防署等のイベント用品の販売や防災用品に関するご相談も承っています。

一般財団法人　大阪消防振興協会
防災物販係
TEL06-6459-1456

～子どもの突然の病気やケガの緊急度の判断・病院情報の検索をアプリがお手伝い！～

小児救急支援アプリ

◎子どものケガや病気の症状を入力するだけで、「緊急度」を自動判定！
◎近くの医療機関（大阪府内）がアプリに表示！
◎ワンタッチで医療機関や１１９番に電話をかけることができる！
◎現在地から、選択した医療機関までの地図を表示！！

※ 受診前には、必ず医療機関へ受診できるか確認を！！

アプリのダウンロード



App Store からダウンロード

ANDROID APP ON Google play

小児救急支援　で検索!!

無料でご利用いただけます ※ただし、ダウンロードには通信料が発生します

大阪市消防局
OSAKA MUNICIPAL FIRE DEPARTMENT

中国料理 東天紅からのご案内

レストラン、ご宴会、ウエディングなど
様々なシーンにふさわしい個室、バンケットと料理をご用意しております。
ご家族やご友人とのお食事からご接待、懇親会など幅広い用途にご利用ください。

①お食事・お飲物代金合計の 10%を優待割引
②飲み放題付きご宴会プラン（5,000 円～）をご利用いただけます
（通常価格より割引されたお得なプランです。ご予算に応じて承ります。）
※他の企画、割引との併用はできません（①、②の併用は不可）　※詳細は店舗にお問い合わせください

＜ご予約・お問い合わせ＞
※ご予約・お問い合わせの際に「大阪消防の冊子を見た」とお伝えください。

大阪天満橋 OMM 店
TEL. 06-6944-1015
〒540-0008
大阪市中央区大手前 1-7-31
OMM ビル 20 階

T'S GARDEN
TEL. 06-6947-5115
〒540-6138
大阪府大阪市中央区城見 2-1-61
ツイン 21MID タワー 38 階

神戸三宮・センタープラザ店
TEL. 078-332-5467
〒650-0021
神戸市中央区三宮町 1-9-1-1900
三宮センタープラザ 19 階

姫路・山陽百貨店東天紅
TEL. 079-288-1015
〒670-0912
姫路市南町 1 番地
山陽百貨店西館 6 階レストラン街


大阪天満橋 OMM 店エントランス

おかげさまで創業80周年 80 鳥よしグループ

ご宴会から二次会まで
おまかせ下さい!


"名物" 鳥よし鍋

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!

大阪キタなら
★エレベーター新設! ★リニューアル改装!
ご晩酌・ご宴会処 鳥よし茶屋
電話 (06) 6365-0010
大阪市北区曽根崎 2-1-9
梅新 お初天神（露天神社）正門出て左へ 30m

大阪ミナミなら
都心のご宴会処 鳥よし本店
電話 (06) 6643-1230
大阪市中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

二次会なら…
グランドラウンジ ミス大阪 大阪市中央区千日前2-7-16 電話(06)6643-1210
ナイトラウンジ ミスパール 大阪市中央区千日前2-8-5 電話(06)6643-1220
ヤングラウンジ ザ・フレッシュ 大阪市中央区千日前2-8-5 電話(06)6644-1313
ミスパール 昼ラウンジ 大阪市中央区千日前2-8-5 電話(06)6643-1220

鳥よしグループ 本社 大阪興業株式会社 鳥よし共栄株式会社
〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-7-16
電話 (06) 6643-2233・6644-1044